ベルセルク

MIURA KENTAROU
with STUDIO GAGA

YOUNG ANIMAL COMICS

BERSERK

6

三浦建太郎

YOUNG ANIMAL COMICS

HAKUSENSHA

YOUNG ANIMAL COMICS

ベルセルク6

三浦建太郎

ベルセルク 6

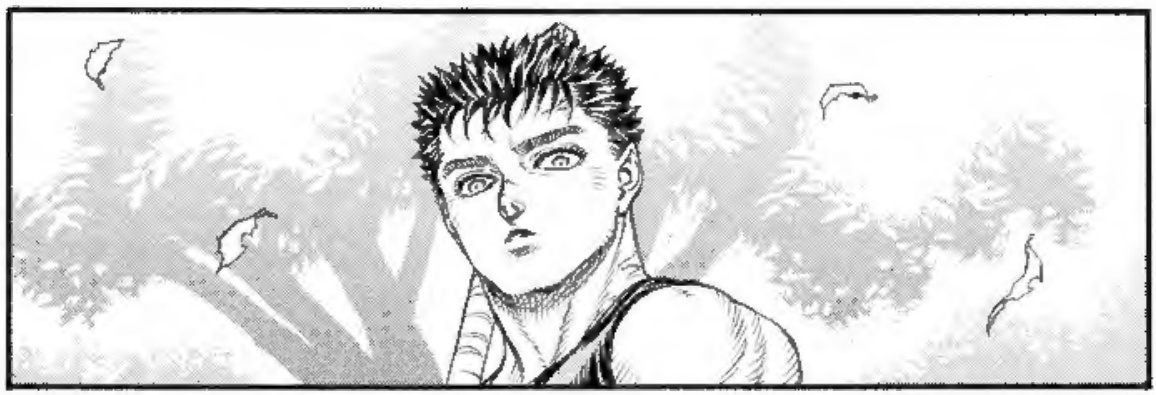
CONTENTS

剣の主(2)	5
暗殺者(1)	33
暗殺者(2)	55
暗殺者(3)	75
暗殺者(4)	95
貴きもの	119
出陣	139
合戦	161
キャスカ(1)	181
キャスカ(2)	201

YOUNG ANIMAL COMICS

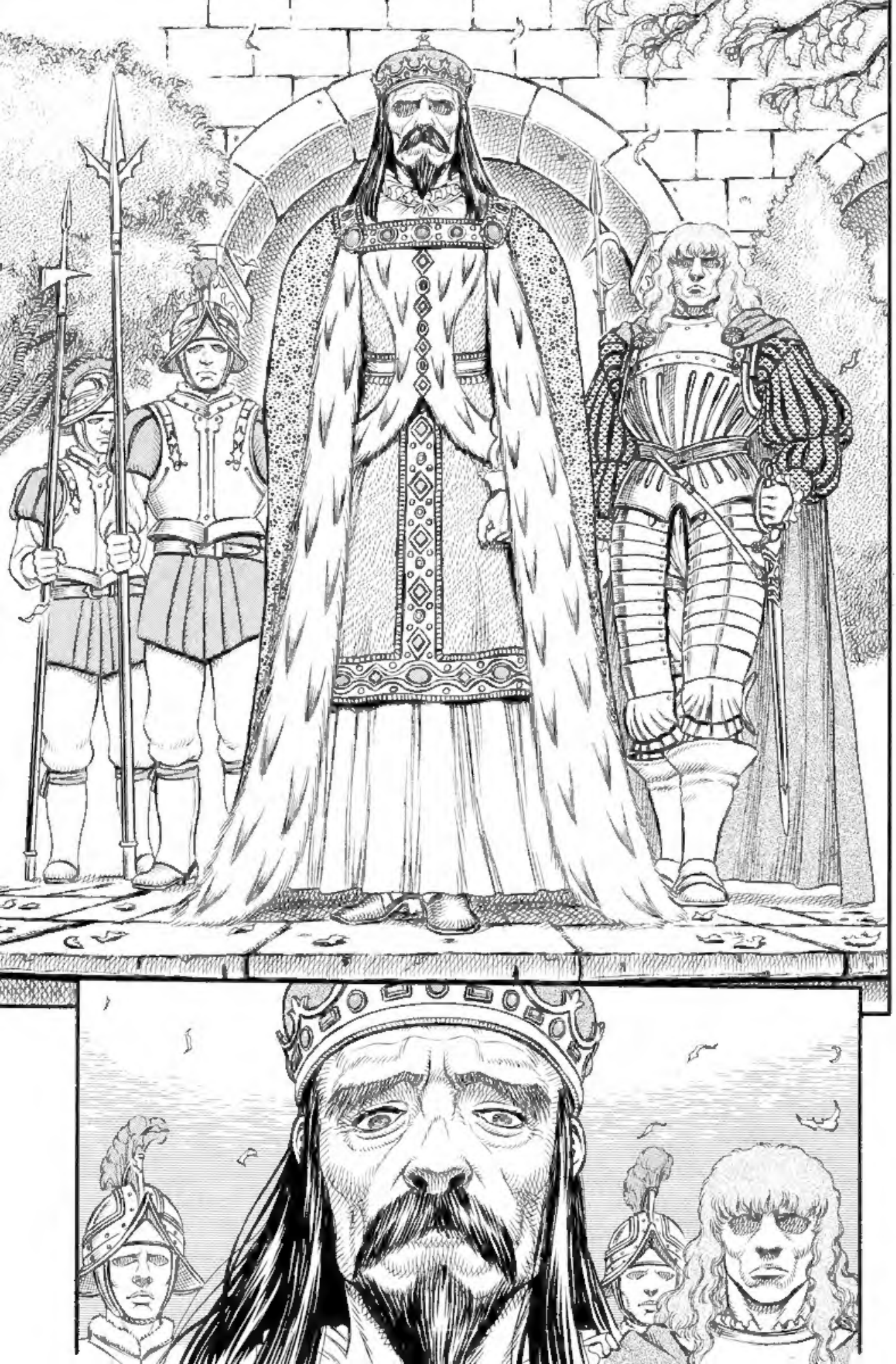
この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件
などにはいっさい関係ありません。

オレがおまえのために体をはることに……
いちいち理由が必要なのか…？
ベルセルク
剣の主（2）



これは白い鷹殿ケガの方はもうよいのかな
！

……いや……
オレは……



……これは
陛下
!
おい
ガッッ
……
……
貴様ア!!
王の御前である!!無礼であろう!!
……
よいて……
面を上げよただの散歩じゃ
しかし陛下…

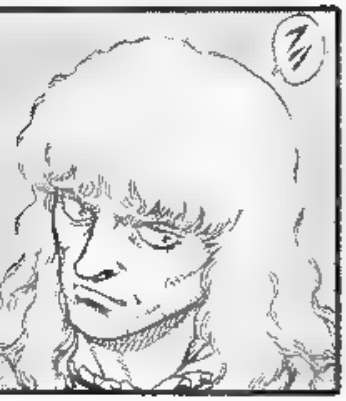
ここの所の立て続けの戦と軍議で城内は殺気立っておる

気を休める間もないわまったく…

紹介しようこちらは我が弟のユリウス伯

白龍将軍にしてミッドランドの第二王位継承権者だ

グリフィスです御見知りおきを



時にグリフィス卿そなたの率いる鷹の団の戦場での働き

いつもながら見事であるぞ

恐れ入ります

……

そなた達の勇猛果敢な戦いぶりを見ておるとこの老骨の身ですら血がたぎってくる様じゃ……

古き臣どもと戦場を駆け回った…若かりし日を思い出す……

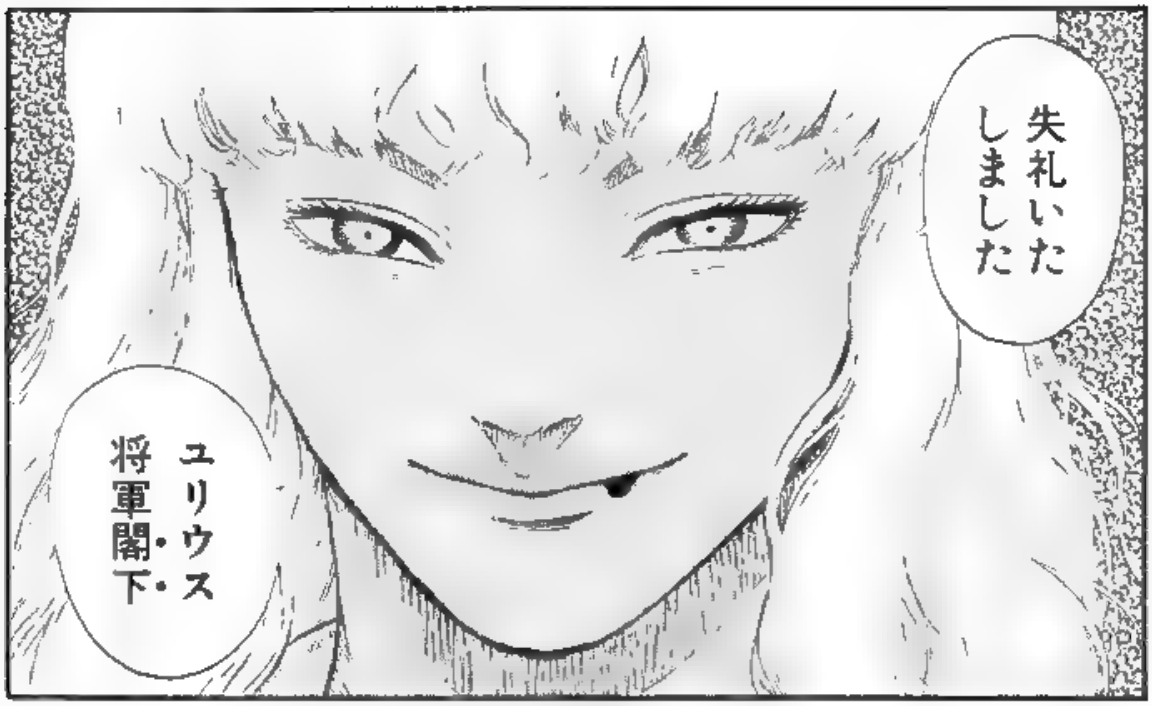
陛下
新参者い一団長如きにそい様な
まあよいではないか
貴族連い中にはそい方ちを快く思わん者かいるいも事実
平民出身い者かこうもははを利かせては我か軍い威信に関わると言ってな
しかし威信や格式などでは戦には勝てぬ
民の腹はふくれぬ今は乱世なのだ
余はむしろ古き仕来りに縛られた貴族出身の将軍達よりも
そなた達の様に形にはまらぬ民間徴用の者にこそこの国を支える礎として大いに期待をよせておる
…
…重ね重ねありがたき御言葉
感服いたします

あちらの御婦人は？
ん？おお…
娘のシャルロットじゃ
内気でのォ…いかめしい武人達は好かぬと申してつたに後宮から出めたがらぬのじゃ

スス
あの結末でな……
一人娘であることを少々甘やかしすぎたか……
……
シャルロット
許されよクリフィス卿
タタ
……
さあ行くぞシャルロット
カッ

カクン

失礼
お気をつけて
貴様ァ!!
姫様の御身体に…
無礼であろう!!
!
おいおっさん!!
!


失礼いたしました
ユリウス・将軍閣下・

……

さあ
まいりましょう姫

何をしておる？
い…いえ何でもありませんお父様

……
ガチャ
ガチャ
ムムムー
聞こえる
今度の戦の手柄でクリフィス様伯爵になられるそうよ
聞こえる
聞こえる

素敵よねー あの方……女の私よりきれいなんだもん頭にきちゃう！

そんでもってこの国最強の軍団長で一番の剣士…てきすぎよォ

そーよね

優雅で堂々としてて とても私達と同じ平民の出とは思えないわ

へたな貴族よりよっぽど品があるもん

そこいくとこのお城の武官達ときたら武骨でがさつなのばっかりやんなっちゃうわよ

グリフィス様と比べちゃ他の武官の方達がかわいそうね！

そりゃね

そーそー

クォ クォ

こらァ!!

端女ども!! 何を無駄口たたいておるか!!

やーねェ

クォ クォ

……

雀どもが……

ユリウス様

ずいぶんと荒れていなさる御様子ですな

その様な大声でとなられると城中に響き渡りますぞ

！

フォス大臣

何か気がかりな事でも？

何てもない！

……

時に将軍今期の〝秋の狩り〟での王の警護の話……お聞きになりましたか？

それならば毎年定例で我が直属の白龍騎士団に任されているが……何か？

今回の警護は王の勅命により

鷹の団が当たることに決定したそうですぞ

…な

なにィ!?

バ……バカな!?

秋の狩りは王が諸侯らと親善を深めるための重要な行事だ!!

ガシャイイイ…

それを…!! あの様な…昨日今日までの我が白龍盗賊まがいだった新参者ともに…!!

その警護といえば正規軍の中でも生え抜きの騎士団にのみ許された名誉ある任務のはず!!

陛下は……
何をお考えか……

……このままで
よろしいのですかな？

かつて我が国最強とうたわれた白龍騎士団の栄光もここの所の鷹の団の活躍ですっかり色あせてしまった様子……
猛将として知られたユリウス将軍の名もあのクリフィスめにかき消されるのではないかと……

……
何ィ？

き……
貴様……!!

……!!
しかし
あやつらの戦場での力量は侮れませんぞ
虎の国が常勝無敗であることはまぎれもない事実
ここしばらくは戦乱の収まる気配はありません さーてはあの調子でまた武勲を上げますぞ
殿下はあの小僧めを大変高く買っている様子

バカな…!?
認めんぞ…!!!
…たをすれば
クリフィスか将軍なととという目も……
平民出の将軍なと聞いた事もないわ!!
あの小僧が私と同じ将軍だと……!?
あの下賤の出の者がこの私と対等に口をきくと言うのか!?

そういう事もありうると申したまでです……

……

認めん…

私は決して認めんぞ…

……

……しかし定例行事とは言え

狩りとは本来危険なもの……

……!?

森や茂みなどにはどの様な獣が潜んでおるのかわかりません

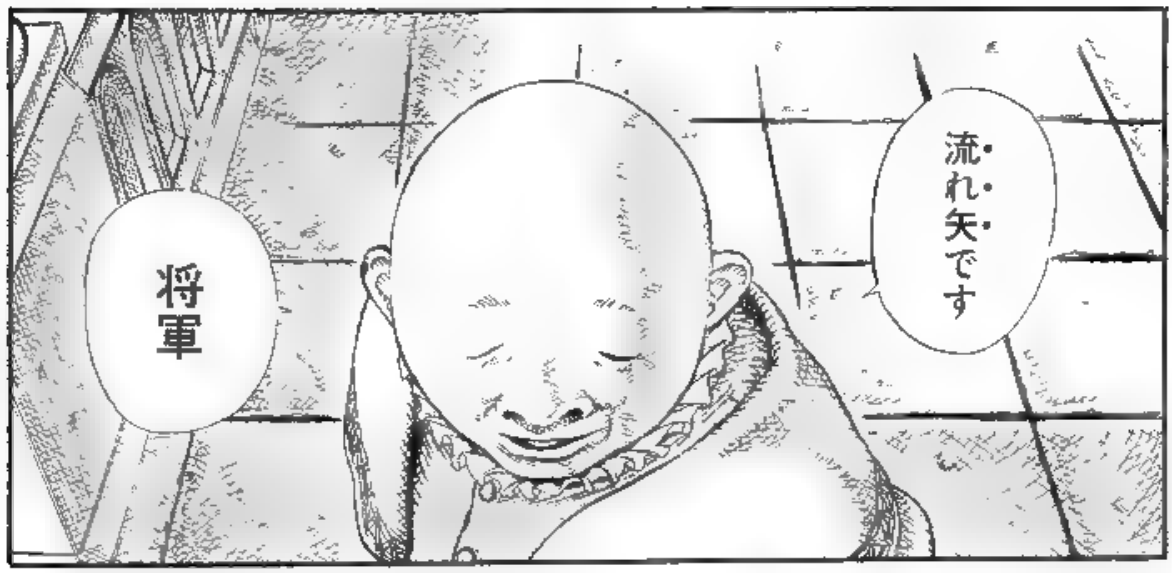
……何だと……?

時、で
もよりは
危険、部が
暗人、ものや
知れまーん

貴様
何か言いたい？

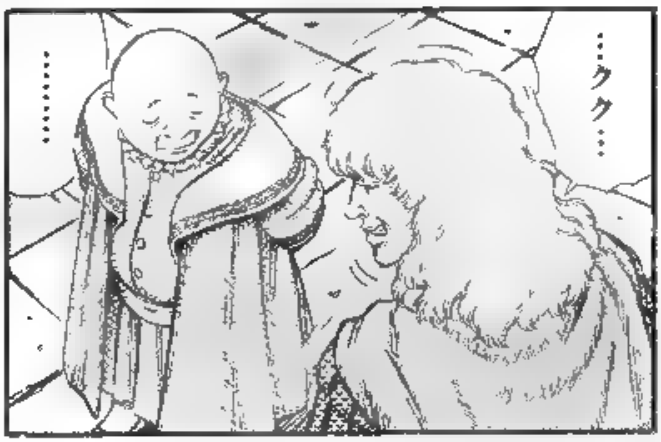
あるいは
獲物を狙った
流れ矢に当たる
のも間々あること
毒のたっぷり
仕込まれた
流れ矢に……

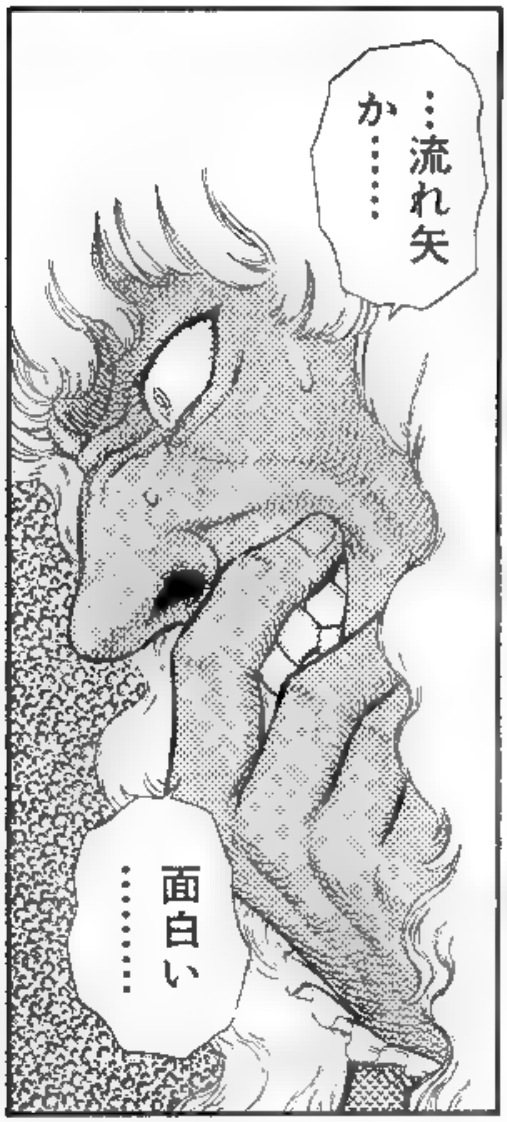
き…
貴様!!
まさか…!?


流れ矢です
将軍

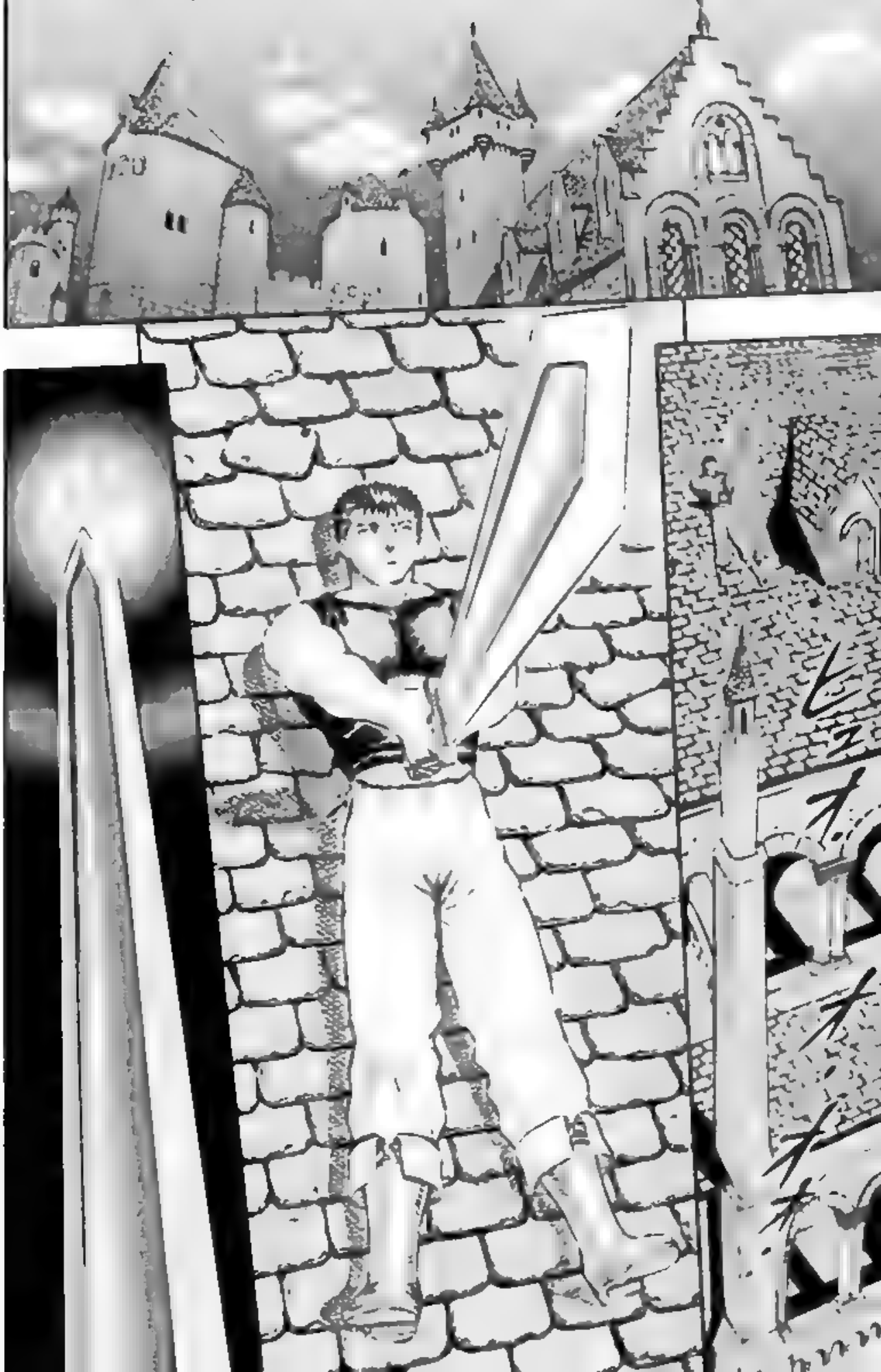
……
……ハハ

ワハハハ!


……クク……
……


……流れ矢か……
面白い……

下賤の者にはふさわしい死に様だの



……

オレが
おまえのために
体をはることに

いちいち
理由が必要
なのか？

おまえのために
……か

あの時も…

こんな……
やけに満月の
眩しい夜だったな…

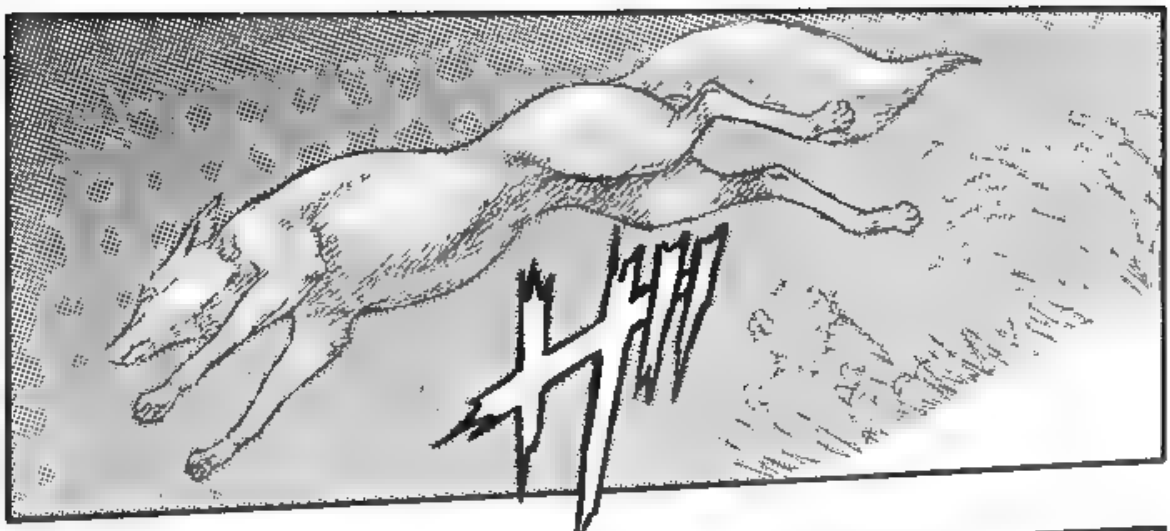
……

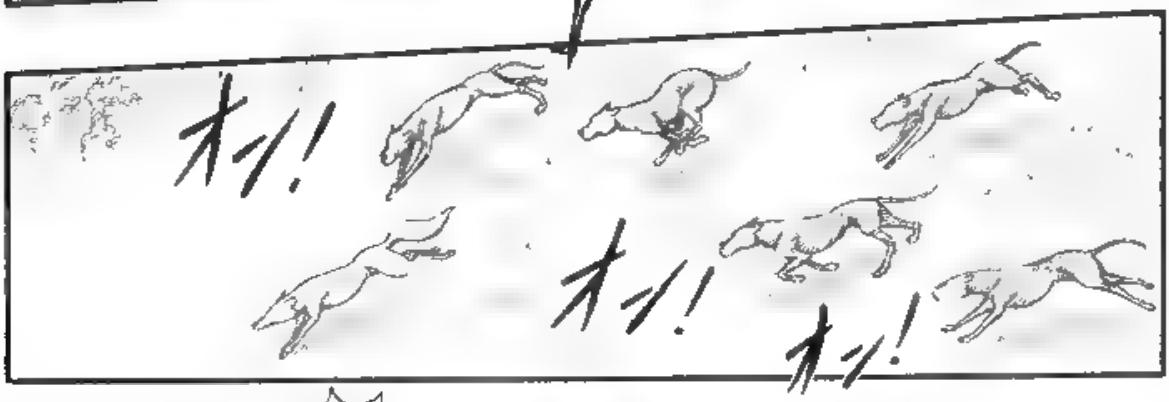
……これが
オレの探していた
答えかどうかは
わからない…

……でも
今は……

今はあいつのため
剣を振る

ヘルセルク
暗殺者(1)


ザザザ


オン!
オン!
オン!

ハァッ!!

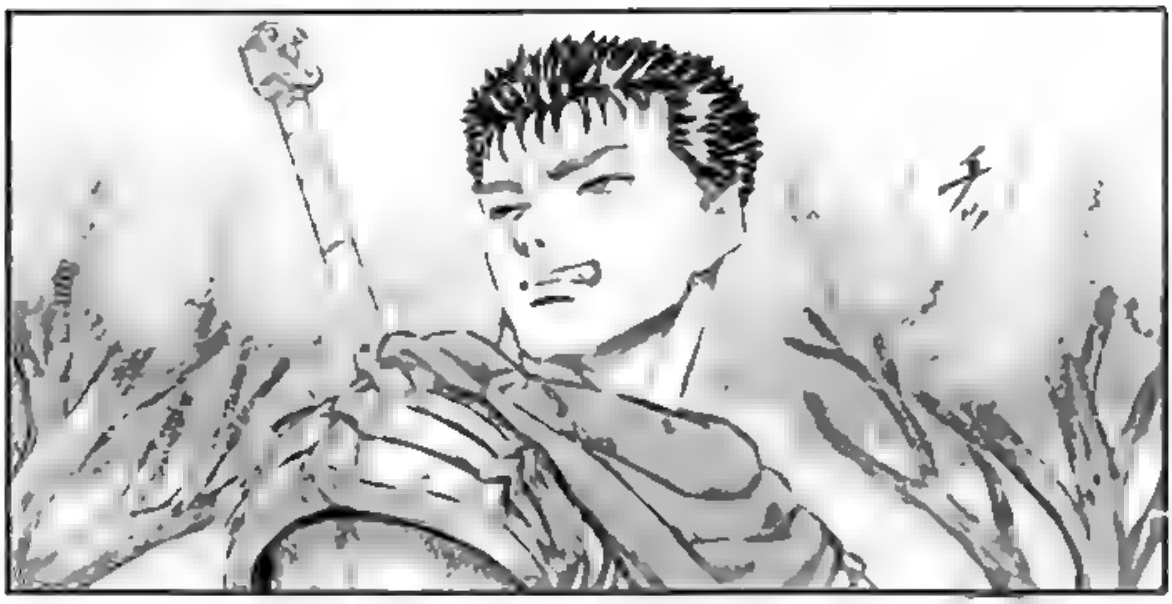
フム
なかなか
しぶとい
獲物じゃな

とうてす
陛下もひとつ
御遠いに
なられて
みては？
いや
やめておこう
この歳では
息が続かんよ

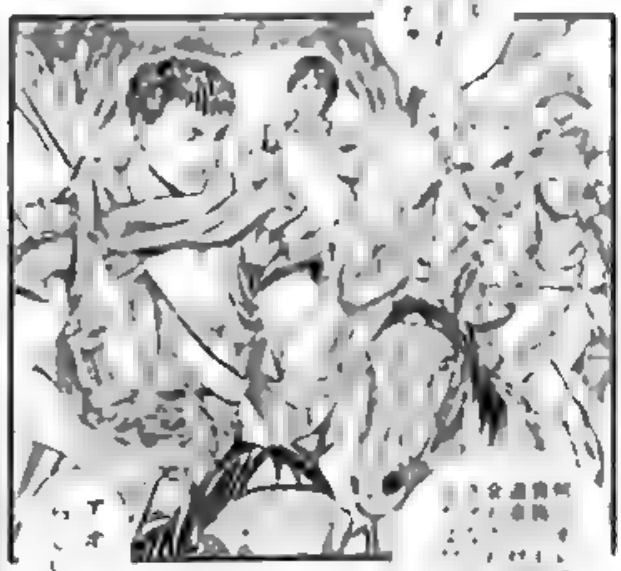
それに一時、
近くも追い
回した獲物を
横合いから
さっとあってはみなの
ひんしゅくを
買う

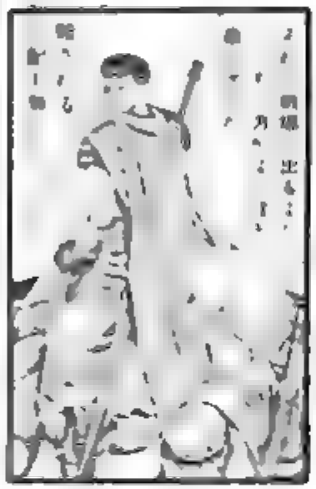
いや それは
寛大な……
……

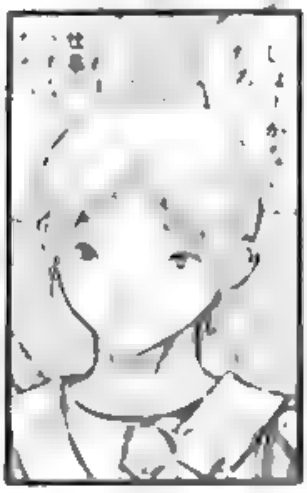
いかん!!
てかしたぞ
小僧!!



……オレには
こいつを振り
回してる方が
性に合ってる







ハッ!

…ったく おめーの頭にゃ それっきゃねえ のかよ!?

コルカス またァ〜

うるせェ!!

いいか? この秋の狩りの 警護はな 今までは この国の生え抜きの 白龍騎士団にしか 許されなかった 名誉ある仕事 なんだ!

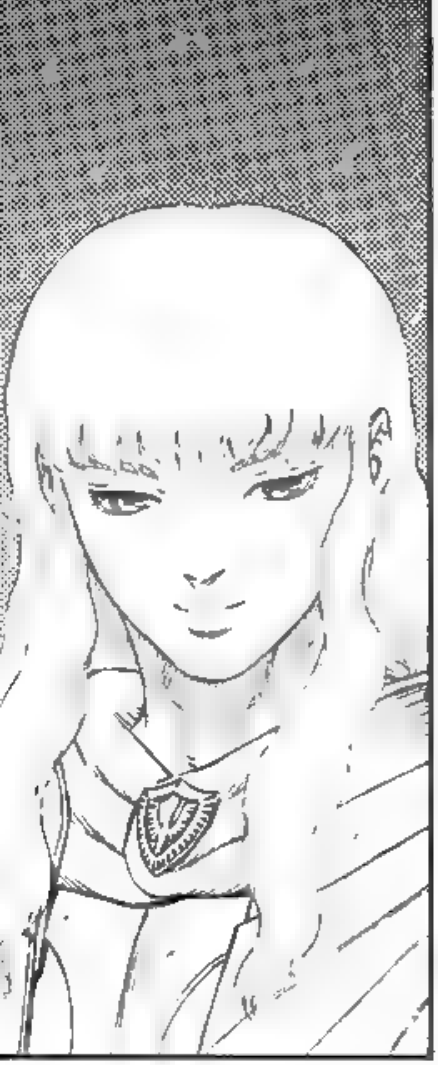
いわば 選ばれた者 だけの特権 なんだよ!!

その特権を手に入れる ためにオレ達は何年も 泥まみれで戦場を駆け ずり回り!! 何度も 危ない橋を渡って来た んだ!!

それを てめェ… アホらしい だと!!?

……
ケッ！そんなに剣を振り回すのが好きなら一人でやってろ！
人斬りバカ！
……
……

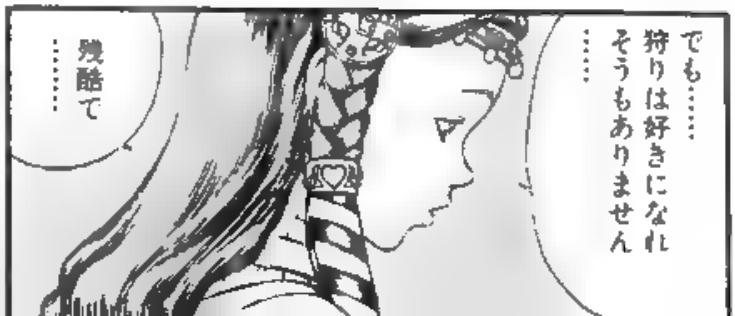
狩りはお嫌いですか？
フウ

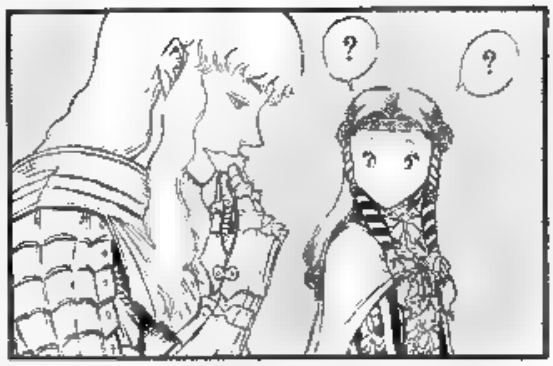


……

私狩り場に来るのは今日が初めてなんです父にしかと言われて　しかなく随行したのですけれど……

戦もそう…どうして男の方は血を流すことばかり好むのです？
……


でも……狩りは好きになれそうもありません……
残酷で……


?
?

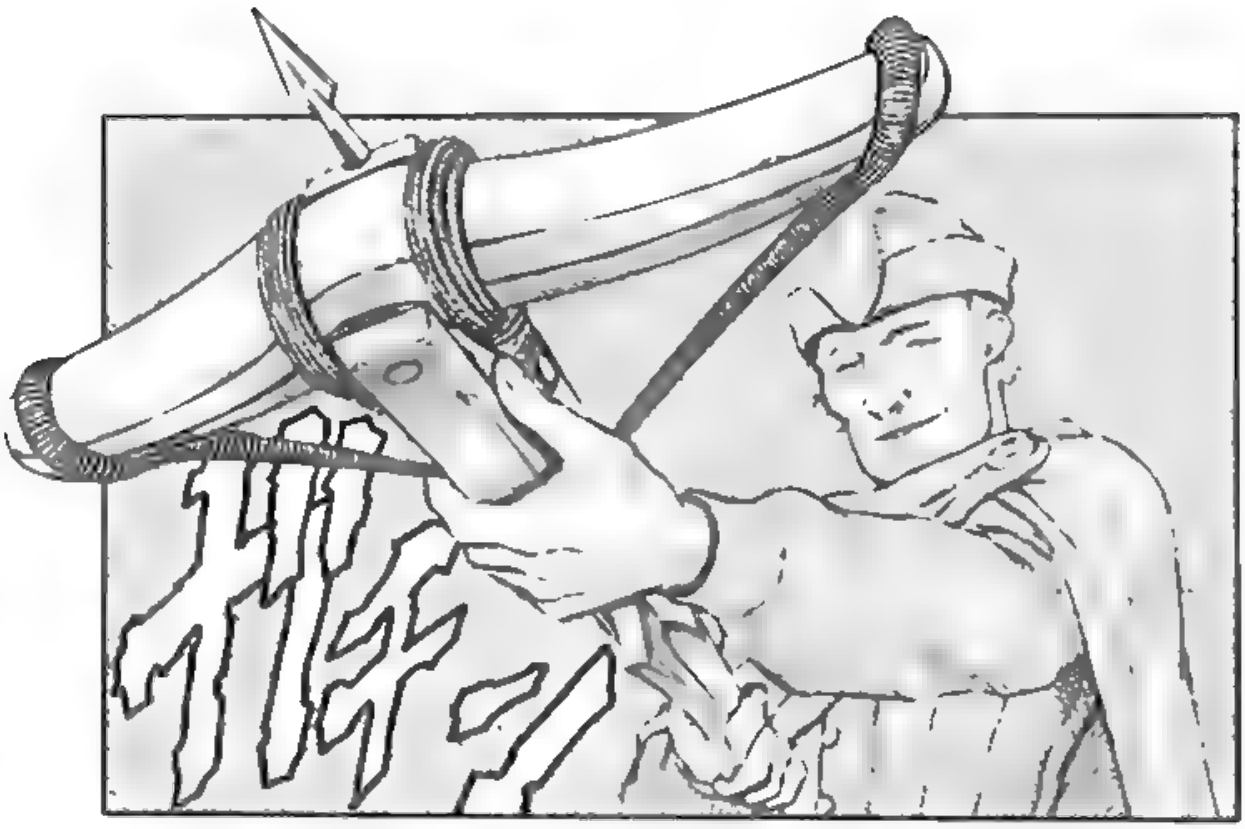
……
まあ

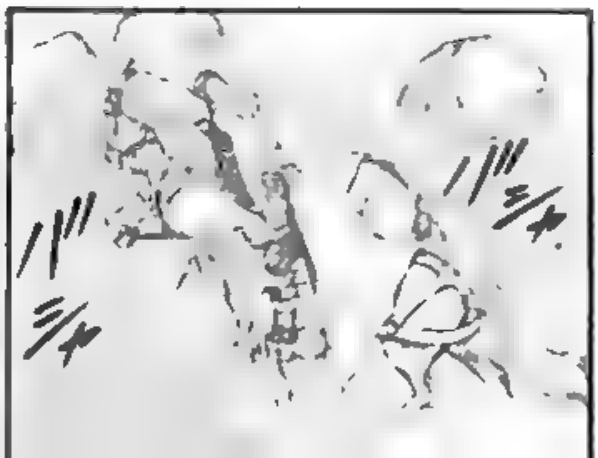
ウ！
こうして
こう
……
……!!

……
閣下…
まあ待て
のぼせおって

キャ

キャアアア
……!!
……!!
……あおれい!!
!





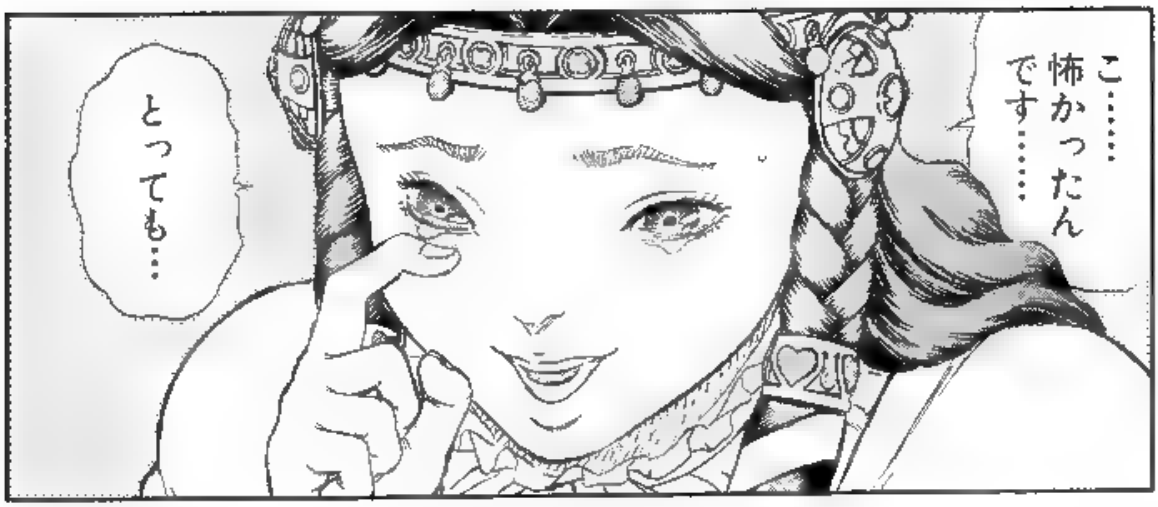
どう!
どう!

(フウ)
もう大丈夫……
……!!

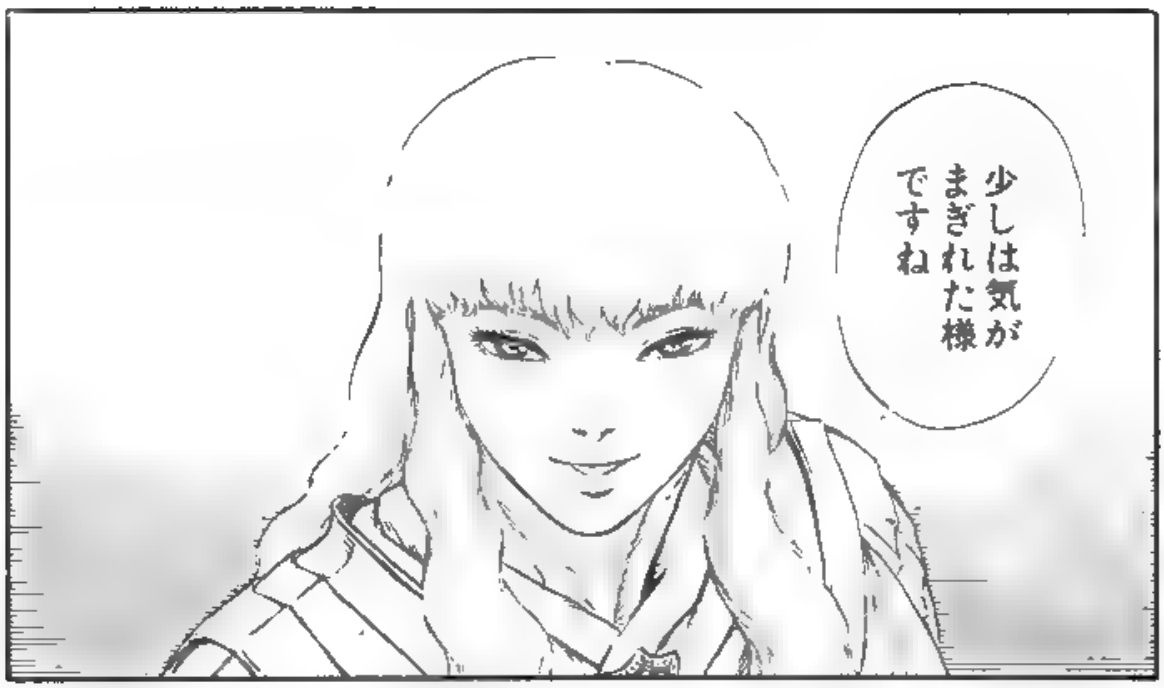
おけがはありませんか？
……

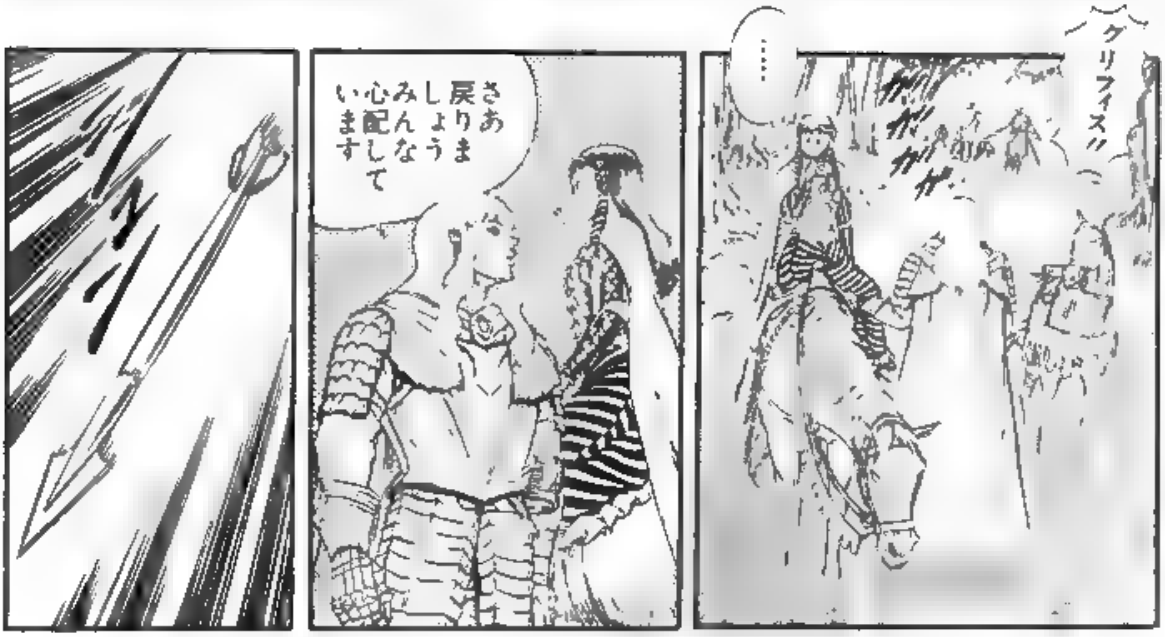
ブ

フフ…
アハハハ…
？
どうなさいました？

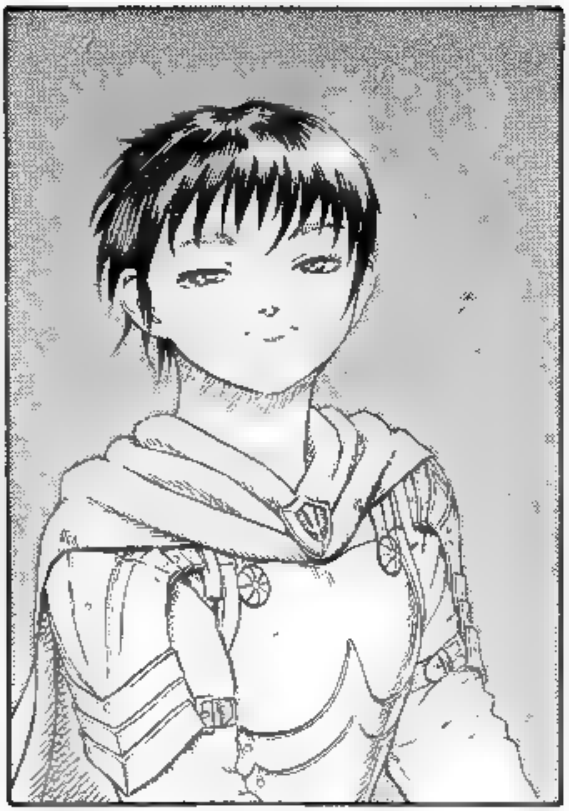

こ……怖かったんです……
とっても…

びっくりしました…！まだ心臓がドキドキいってます！
私こんなに馬を走らせたの生まれて初めて！
パシ
あ…

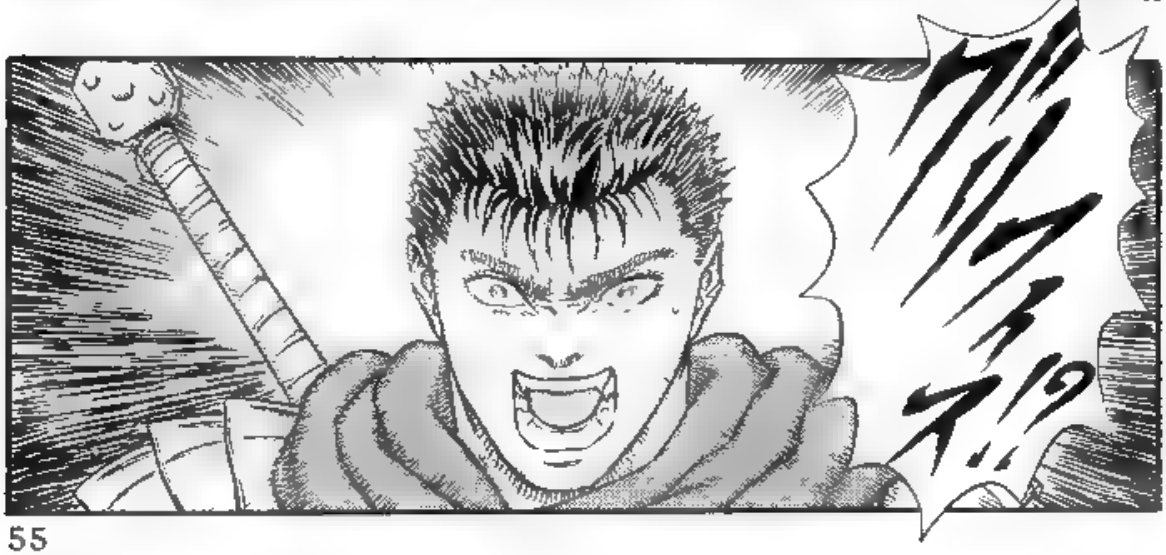

少しは気がまぎれた様ですね


グリフィス!!
……
さあ戻りましょう
みんな心配しています

暗殺者(1)　おわり



!


ガルムだ!!

ベルセルク
暗殺者(2)

グリフィス!!
……!!
グリフィス!!
大丈夫!? しっかりして!!
……ああ
おい!! お姫さん!!

いったい どうなってんだ!?

この矢はどっから飛んで来た!!?

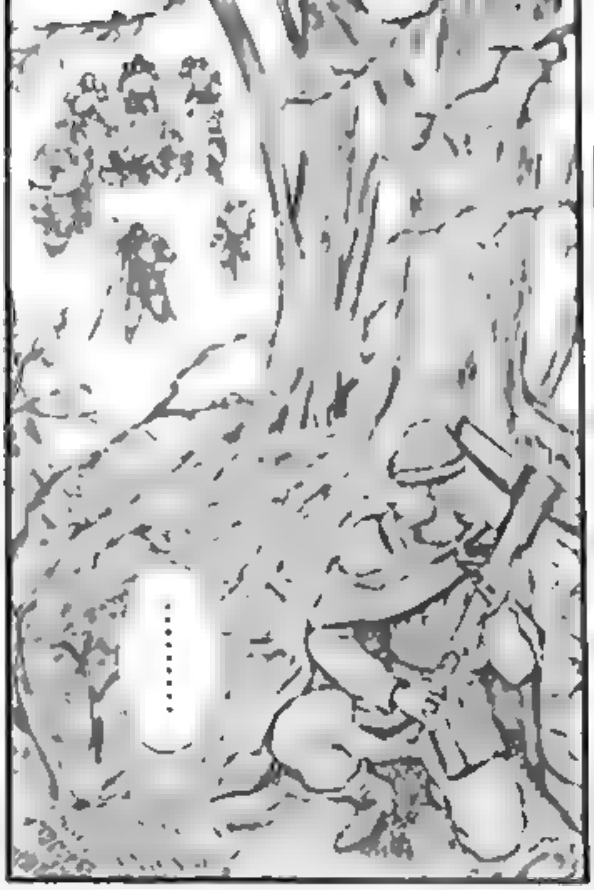
……わ私……わかりません

…痛い放して…

まずいぞ…こいつはへたすると心臓に…

バカな!!

くっ…!!


……

……〃

あの矢には
猛毒のカラバル豆が
たっぷりと
仕込んである
たとえ
かすりキズでも
確実にあの世行きだ

そう
あわてる
な

グリフィス
……〃

!?
矢は…!?
大丈夫なのか!?
グリフィス!!
……
ズ
こいつは……?
……毒
…だなそれもかなり強力な…

しゃあ なぜ
こいつが 盾になって くれたんだ
覇王の…
卵…!!

それはあんたがいつもふらさけてる首飾り……？

ほ ほんと かよ……!?

げ――!! うそだらああ!?

あんのかよ こんなこと!?

奇跡だぜ!!

か――すんげえ悪運!!

ほんと…文字通り御守ってやったな

悪運……

そう…

並大抵の〝運〟じゃない……

……

グリフィス一応甲冑脱いで…

ケガしてるかどうか見ておかないと

へーきだよ何ともないから…

だめだ!!

毒が塗ってあったんだろ!?

小さなキズでも万が一ってことがある!!

……

ほんとに大丈夫だよ かすりキズ一つ負っちゃいないから

だけど…!!

……
あい
こめんなさい
……
私が……
馬をしっかり
掴えなかった
ばっかりに……
こんなことに
……
何言ってるんです
あなたも冒険する
いち私達の
仕事ですよ
それとこいつ
たいしたもの
すレ盗の
大将で
殺人で
なんで
野郎は
お嬢さんを
盗んじゃ
いけない
とても許せ
ねえぜ
さいや
かってて
殺
てやる

オレは部下どもつれて その辺の茂みさらってみる

サ//
サ//

おら// 行くぞ ガストン//

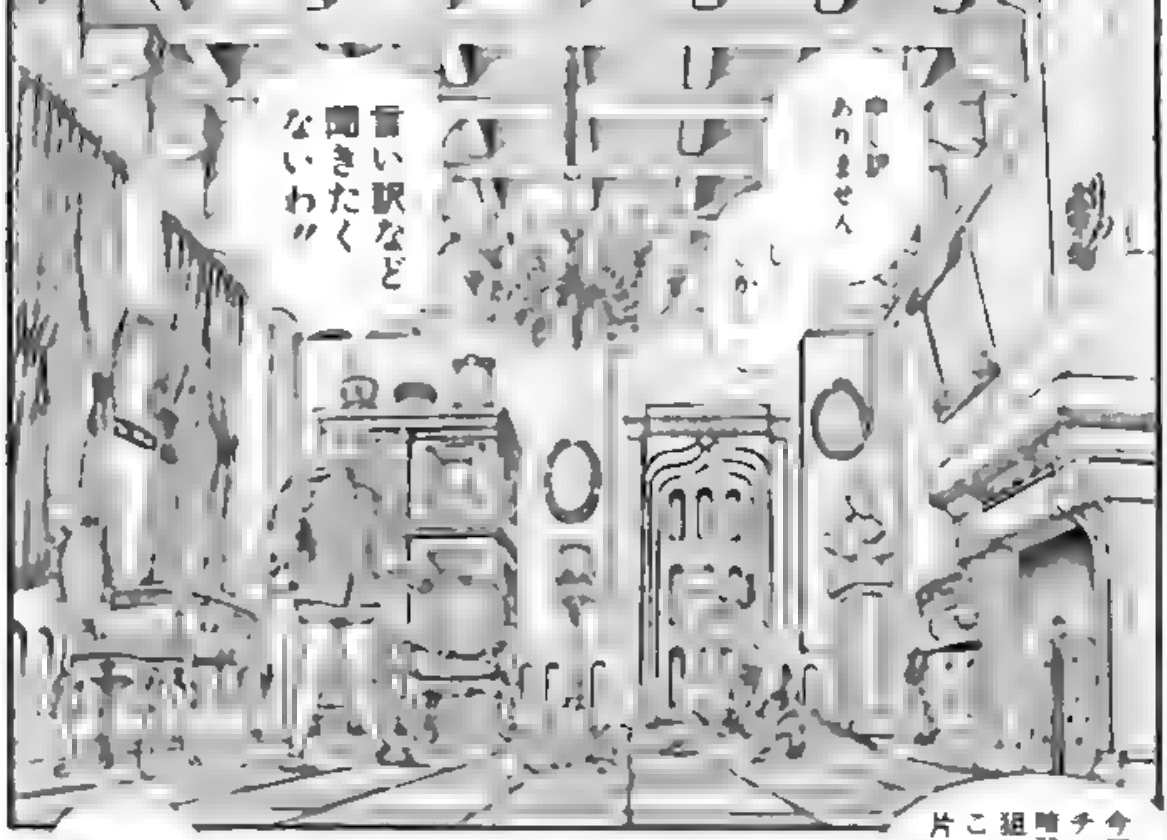
へいへい!

この毒は……

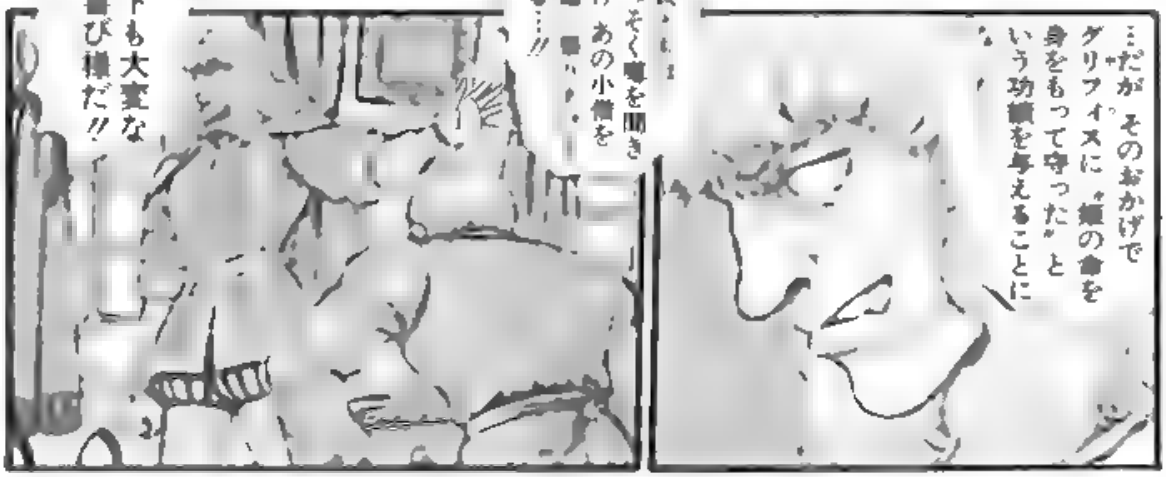
ウインダム城

ガシャーン

なんたる様だ!!


ありません
言い訳など聞きたくないわ!!

今回のことはチューダーの暗殺者が姫の命を狙ったということで一応の片はついた
我れらの勝ちか 及ぶことはまずはあるまい


…だが そのおかげでグリフィスに"姫の命を身をもって守った"という功績を与えることに
陛下も大変なお喜び様だ!!

結果的にやつの昇進の手助けをすることになったんだ!!

何と無様な話だ!!

しかし姫を狙って矢を放ったと言うなら?

ああもうまいことやつの心臓に突き立つはずか

……!!

それでは陛下の前であなたは貴様かクリフォスを狙ったと申し開きしろとでも言うのか!!

第一やつはあい通り生きておるぞ!!

あんなことは万一、一つもあり得るはずか

もういい下がれ!!

……

ドサ…

あの目…
まるで威圧
する様な…

くだらぬものでも
見下す様な……
そんな目つきだった
……

バカな……!!
オレは王族だぞ!?
ミッドランドの
第二王位継承
権者だ!!

あの様な平民出の
小僧とは身分も
格も天と地ほどの
開きがある!!
それを……

狩り場でもそうだ
一瞬だがやつめ
獲物を狙う獣
……そう!
まるで鷹の様な
目で私を…!!

……

…まさか
……?

……いや
ありえん

あの場
には他の
騎士も居た
は人の一瞬目が
あったーすぎる

第一 何の証拠か
ないと言うつもり

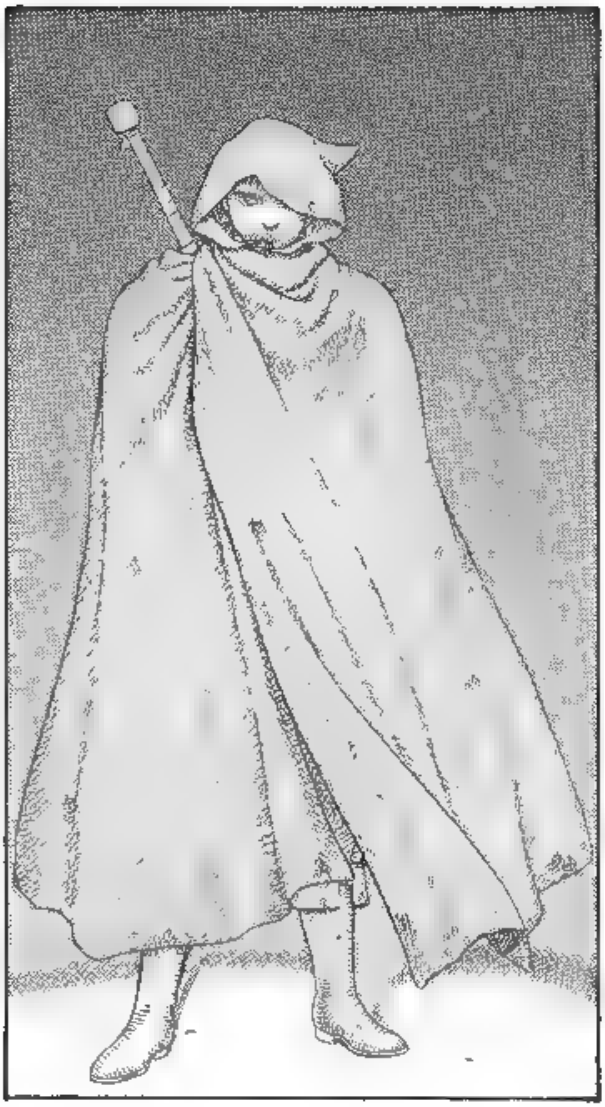
……

ありえん

よう
悪いな こんな時間に
ちょっと 待ってて くれ すぐ片付けちまうから
……

また増えたな これ全部 読んだいか？
ん――まあ大体な
偉くなると 戦だけやってりゃ いいって わけには いかなくなる のさ
と言っても 半分は興味 本音だけと な。
歴史 宗教 哲学 化学 兵法 ケ――
宮わ ずところしゃ 化粧いやり方とか 料理い作り方とか 色々あるそ
中には こんなのも ある
ピラ

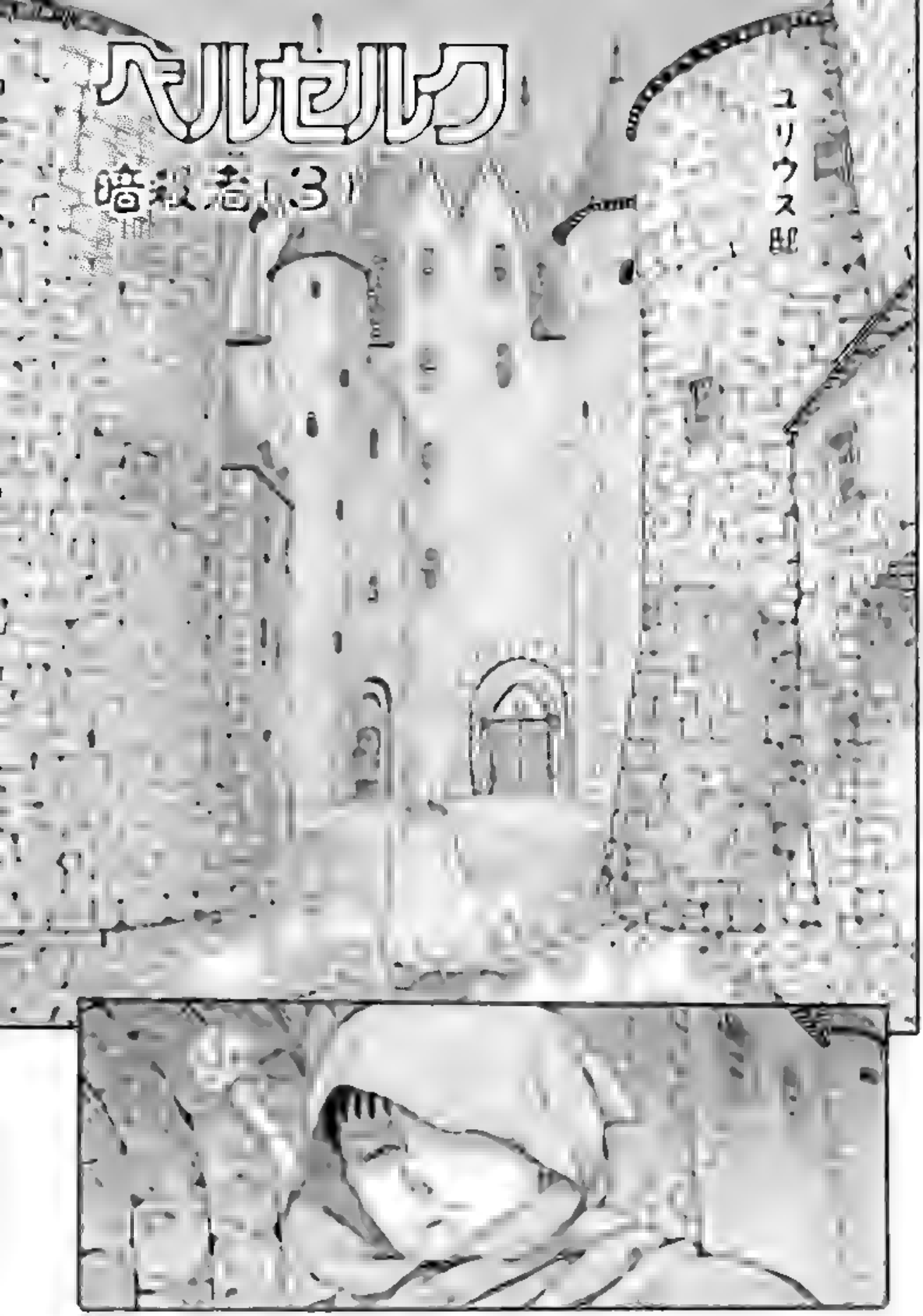
暗殺者(2)　おわり

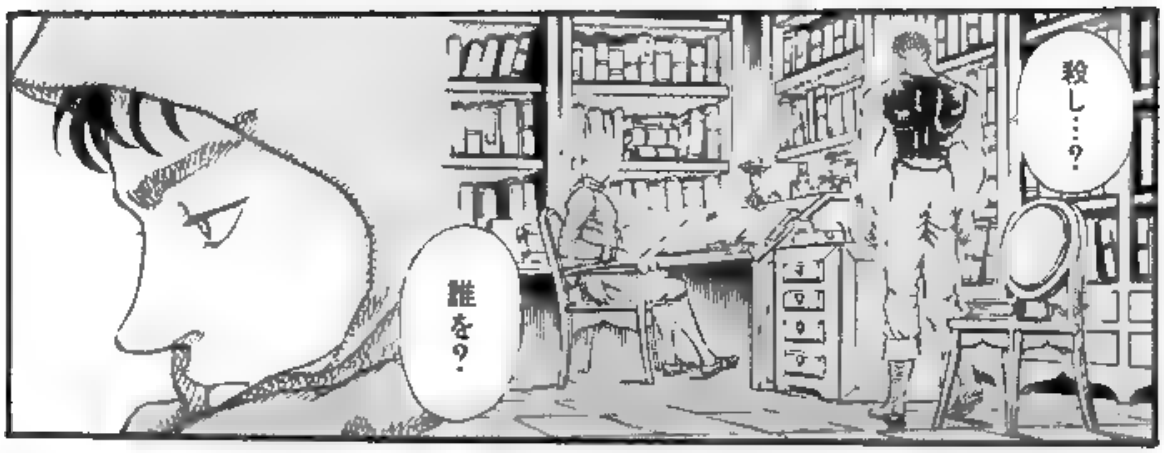


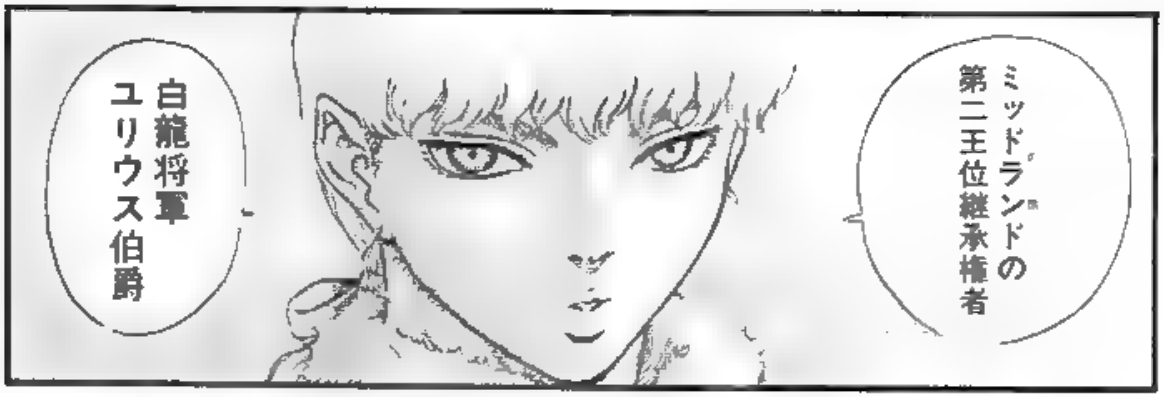
ベルセルク

暗殺者 3

ユリウス 記




殺し…？
誰を？


ミッドランドの第二王位継承権者
白龍将軍ユリウス伯爵

！

こいつさ……

あの男か……

……
カク
理由は…

この矢に塗られていたのはカラバル豆といって

一般人が手にすることはまず無い……かなり致死性の高い猛毒だ

町中の医者をしらみ潰しに当たってみたところこいつを扱っているのはたった一軒

そこで最近これを購入した者は一人……

白龍騎士団随一の弓の使い手といわれている男だそうだ

侍女の一人に金を握ませやつの身辺を探らせたところ

今日の夕刻ひとくしほどこっぴどくウスリ伯の執務室から出て行くのを見かけたらしい

……

会話の内容まではくわしくは聞きとれなかったが……

今回の暗殺騒ぎのことを話していたということだ

このことはまだ誰にも話していない

……

……たからこそ

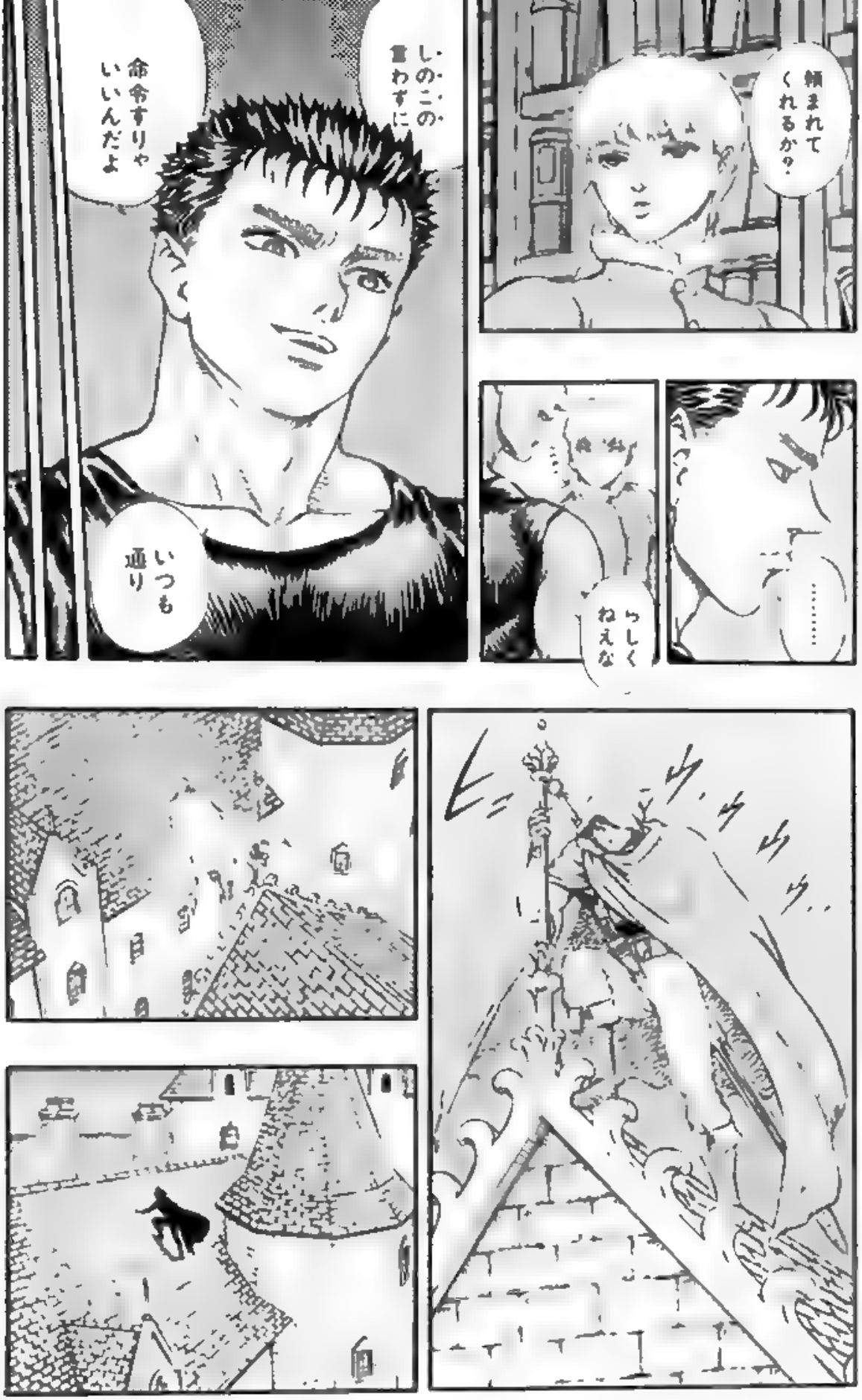
この仕事はおまえに頼みたい

これは…

暗殺だ

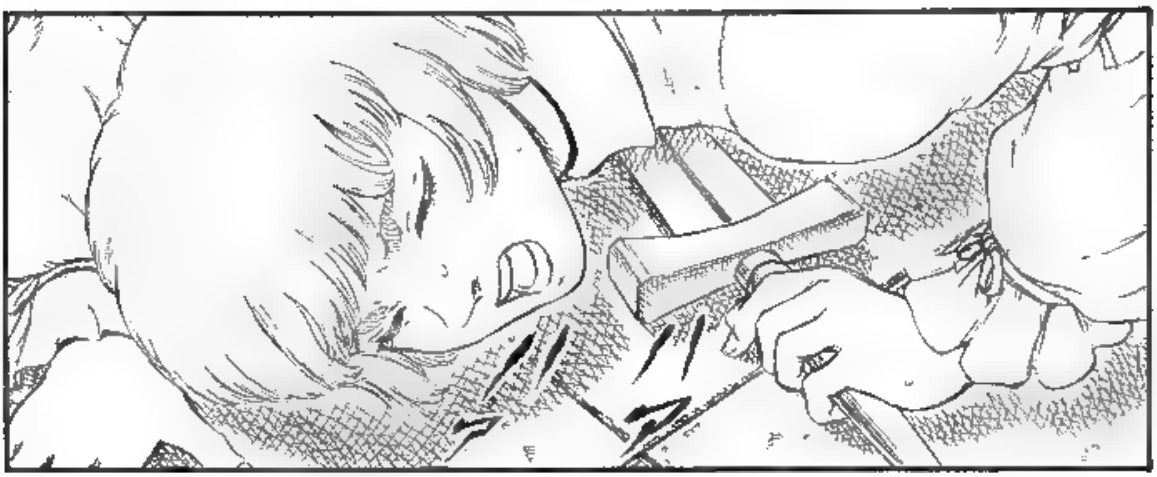
戦で敵と剣を交えることとは根本的に違う

汚ない仕事だし決して失敗も許されない顔を見られることもな


頼まれてくれるか？
……
しのこの言わずに
命令すりゃいいんだよ
いつも通り
らしくねえな

ハッ！
！
ユリウス…
！

誰だ
あのガキ?



何だその
様は!?
貴様
それでも
王族の男子か!?

立て!!
……!!

さあ立て!! 休むな!!

戦場では敵は待ってはくれぬぞ!!

殿下…とうか今日のところはその辺で…

下がっておれハッサン!!

アドニスはいずれは我が白龍騎士団の団長としてこの国最強の軍団を指揮せねばならぬ身!!

それだけではない!! 同じ王家の者としてシャルロット様を頂きこのミッドランドを総べるということもありうるのだ!!

王家の男子とはそう生まれついたというだけで

他の人間とはそもそも身の降り懸かる責任の重大さが違うのだ

来い!! この私からせめて一本でも取ってみろ!!

……

あ

あああ

……
……まあよい
今日はこれまでだ

……
バサ
！
体を冷やすな
明日の稽古にさわる

大丈夫ですか？
……
ひどいおけがですぐに手当てを……
……
……若様 とうか 気を落とさずに……
奥方様がお亡くなりになられて以来 御父上は若様を男手一つで一人前の騎士にお育てしようと必死なのです
とうかお恨みなさいませぬ様……
……

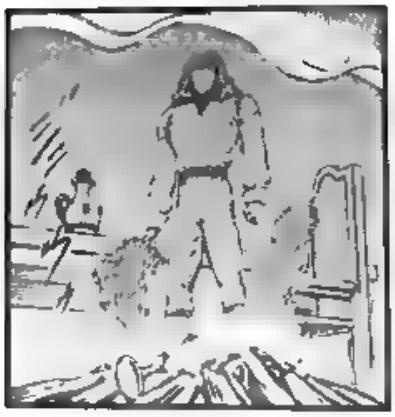
……うかつだぜ
こんな時に……

殿下お気持ちはお察しいたしますが、もう少し若様にお優しくなさられても、
主族としての責任の重大さもありましょう。アトニス様はまだ13、たとてさえ母親が恋しい時期です

恐れながら
ここ数日い猛稽古少々常軌を逸しております
もういいわかったから下がれハノサン!
ここいっところ城勤めで不首尾があってな
そいせいで少々いらついていたかもしれぬ!

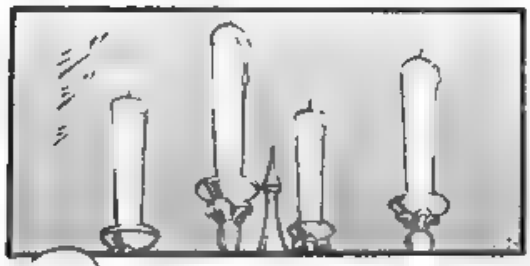
くれくれもご無理をなさいませぬように
ケン!

ガシャァァ



……
!!

オイ!
ヒュウウ・ウウ
……風か?



!

曲者か……〃
スッ

……ぐ……

……!!

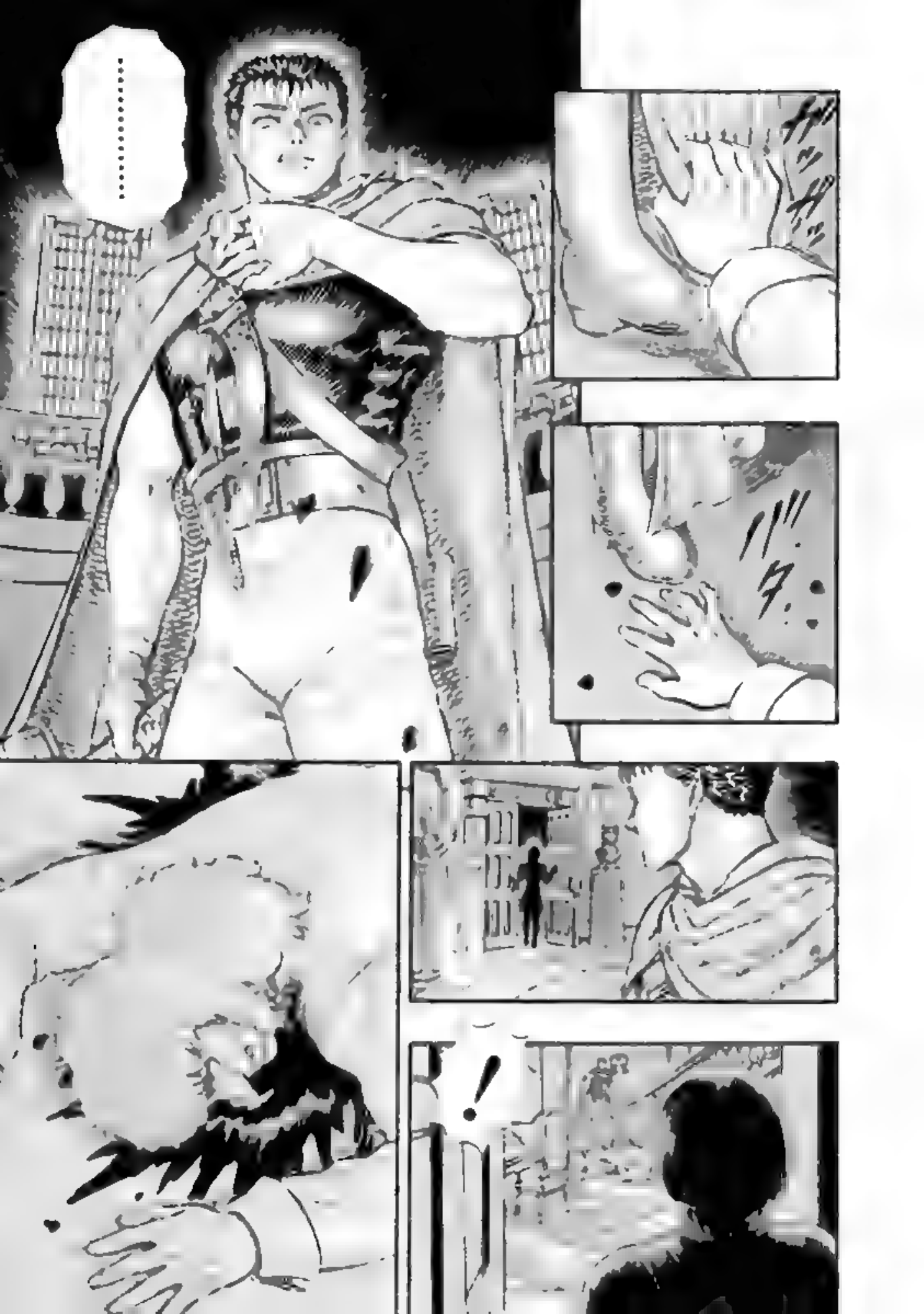
あの…

クリフィス…

ズル…

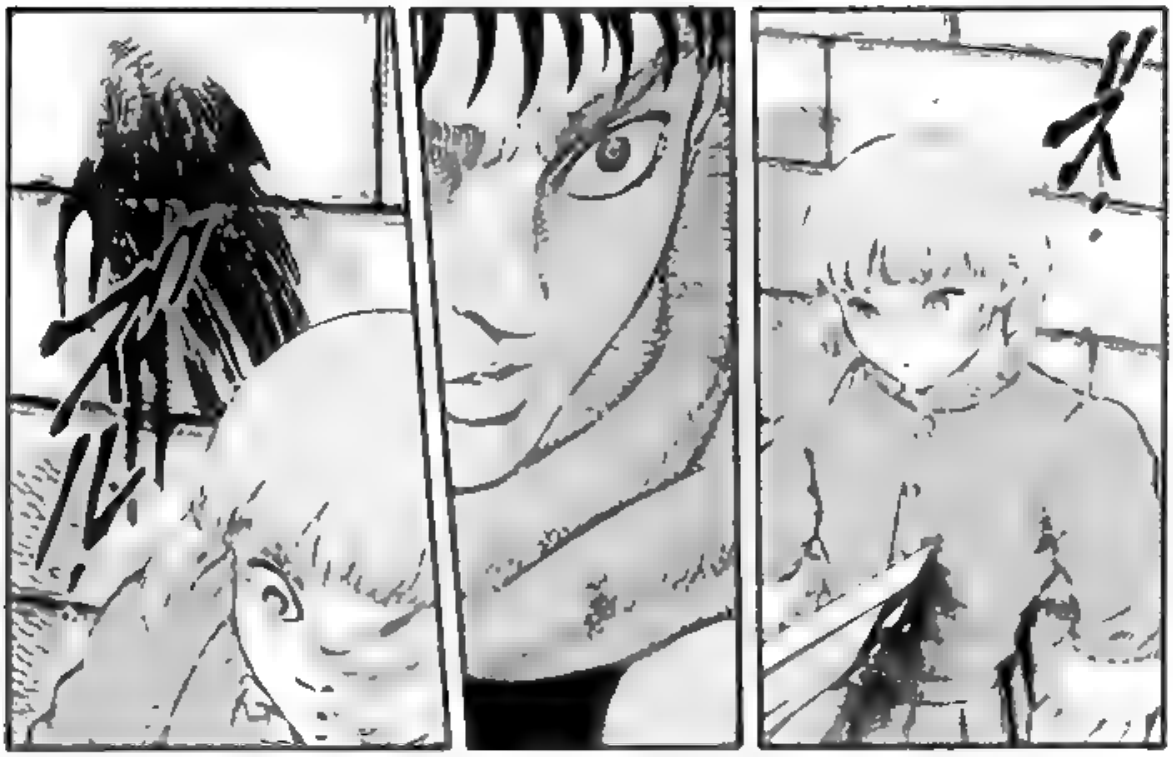
…し…

そ知てる



曲者…!?
ザッ
ザッ
ザッ

［暗殺者(3)　おわり］



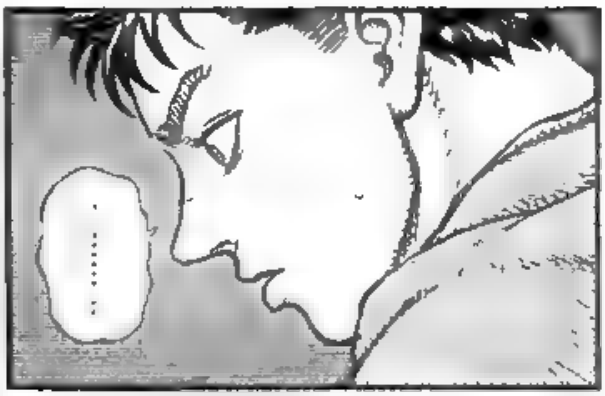
ベルセルク

ベルセルク
暗殺者(4)

う…あ…

あ…

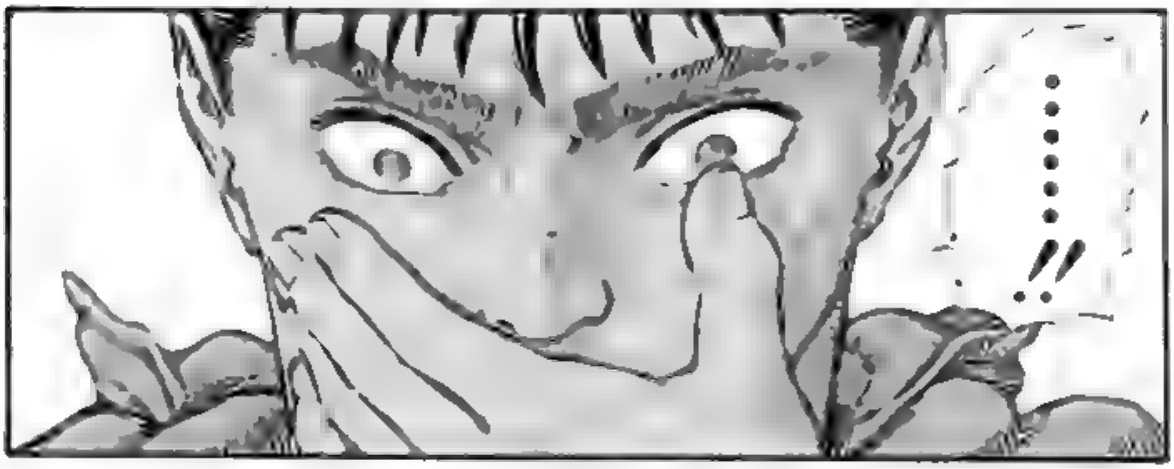
お…
おい…


……

ぴくっ

……!!
ゴボ!
ドク
ドク

!!


……
!!

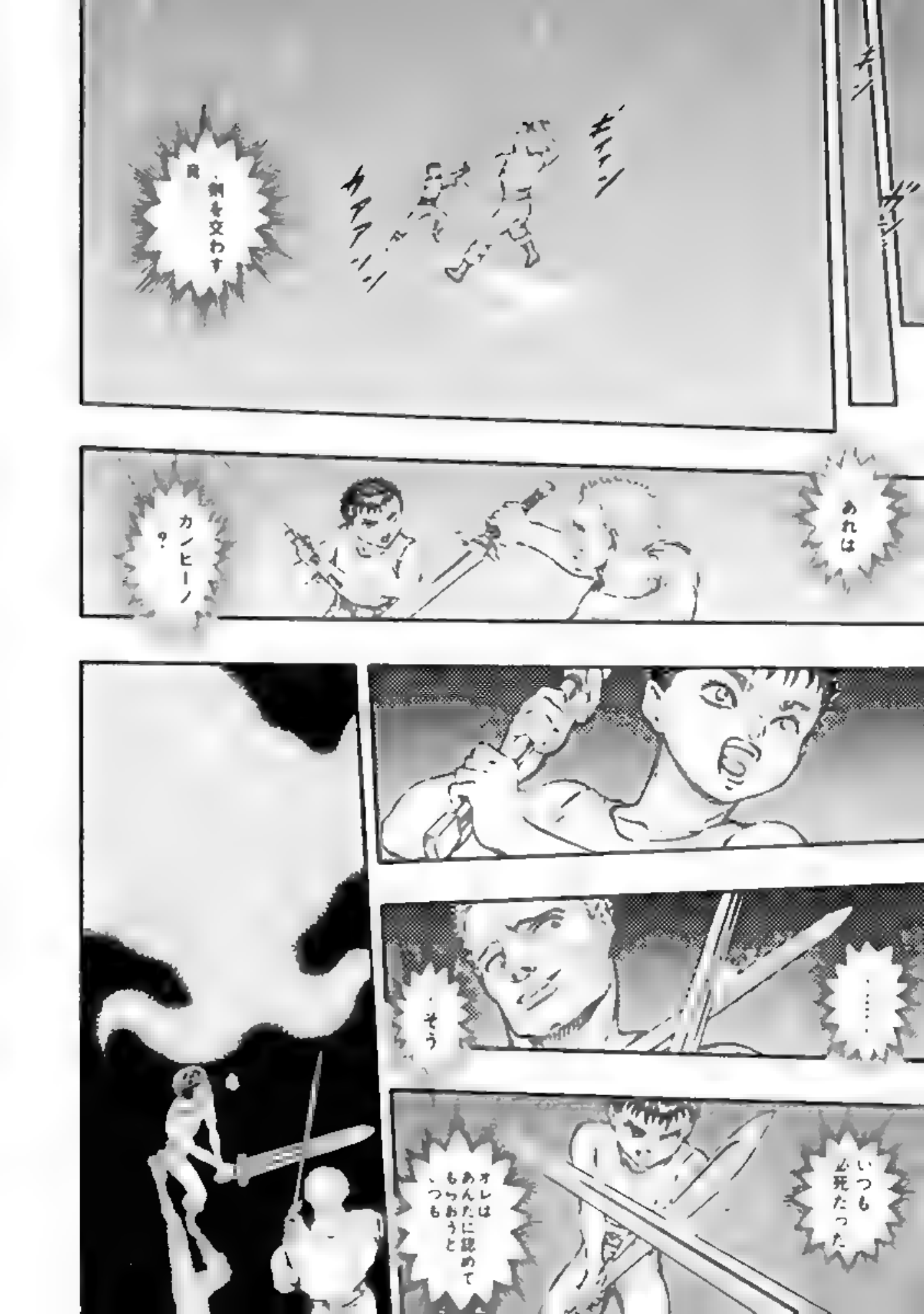
ガチ
ガチ

!
ダン!!
血色!?

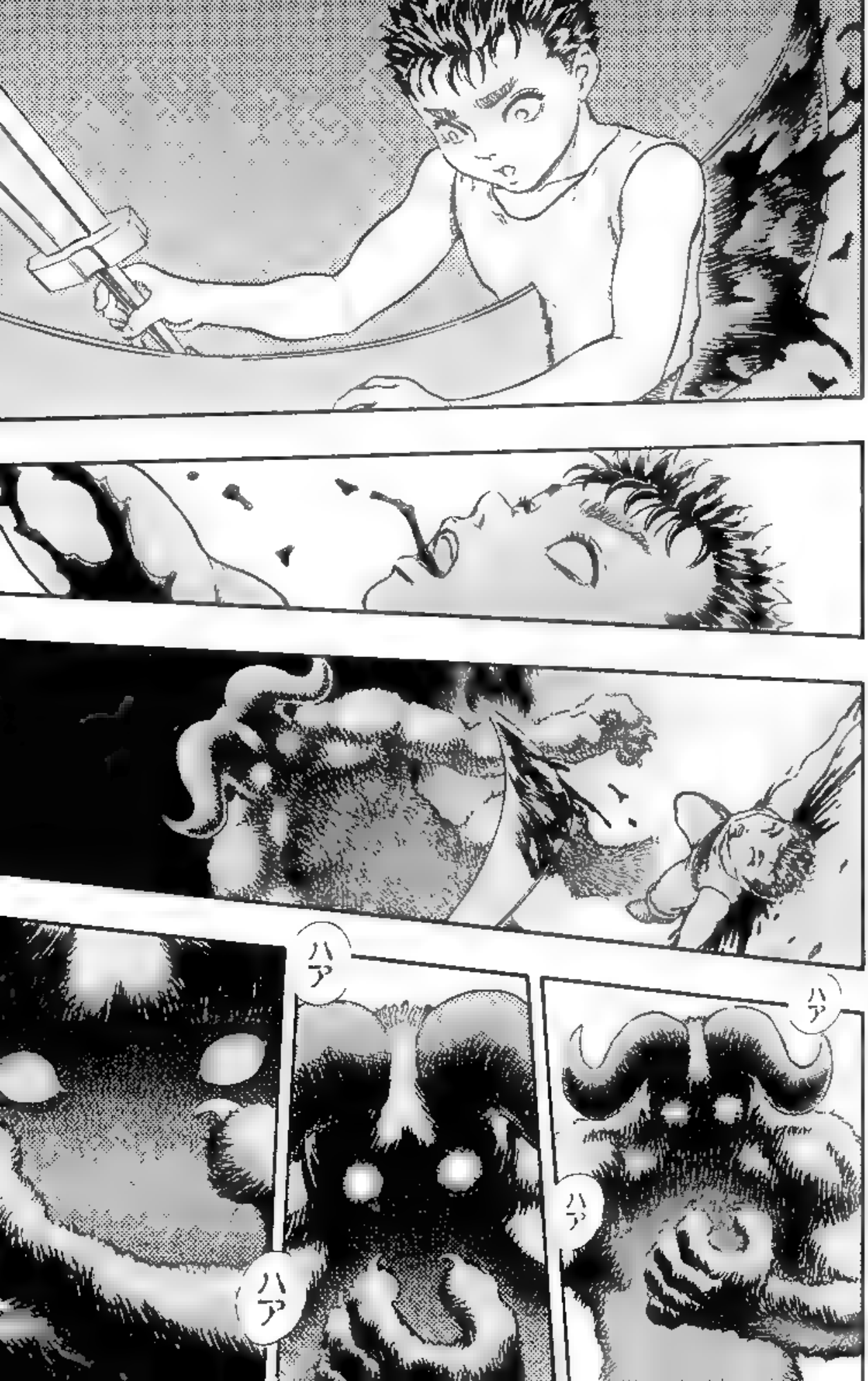
……!!
どうしたの!?
誰ですか!
……な
何だと!?

捜せ……!!
賊を……やつを決してこの屋敷より生かして出すてないぞ!!

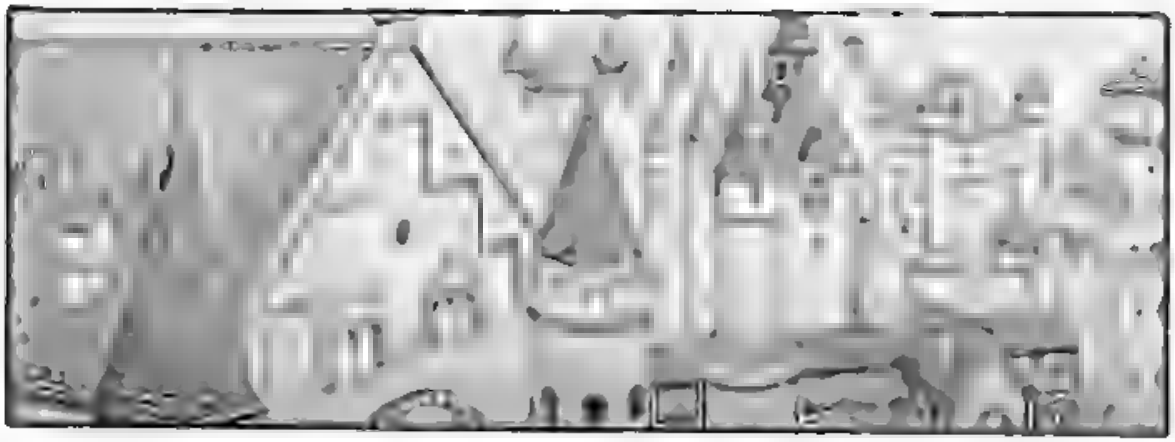
下水道か
ガアアアア
捜せ!!
向こうに落ちたぞ
バシャア
アア!
……!!


剣を交わす
あれは
カンヒーノ？
……
そう
いつも必死だった
オレはあんたに追めてもらおうとつも

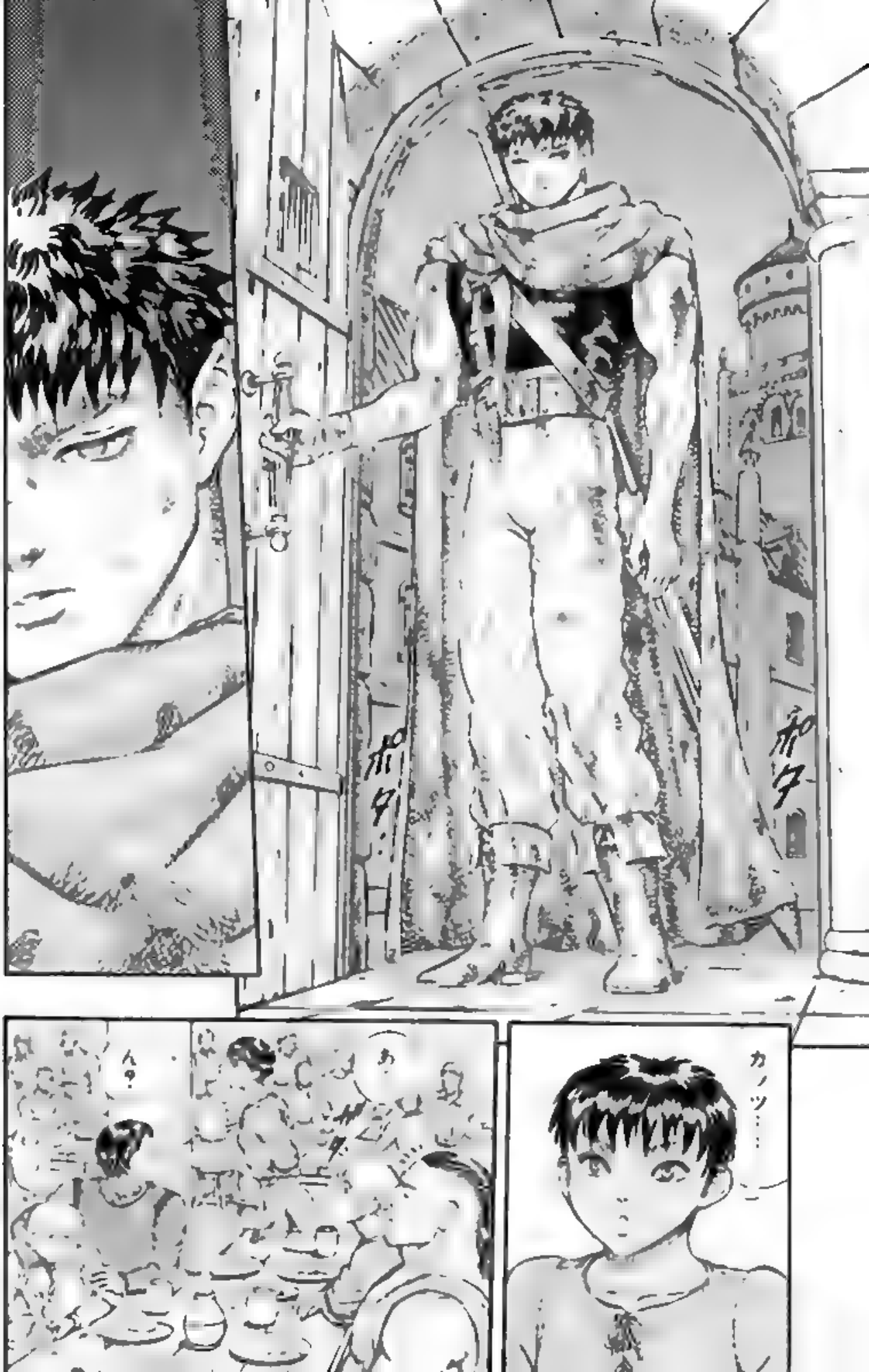
……
やめろ…
やめろオォ!!


ハア
ハア
ハア
ハア

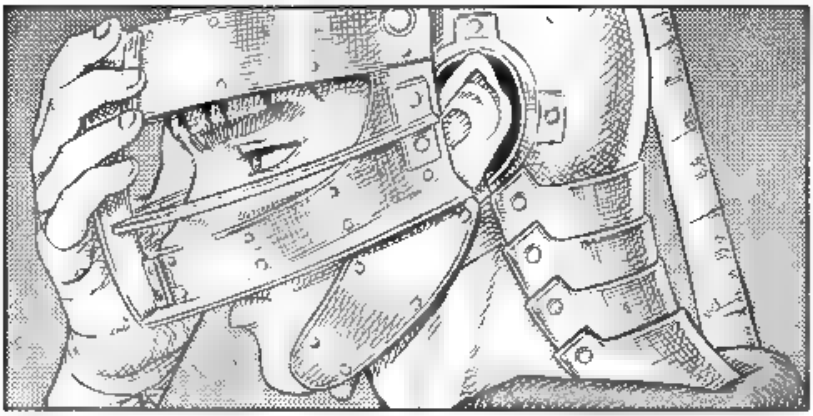
ザザザ



ハム ハム
お堅いだけだせきっと…
……
そう言えばとうしたんだろカノッ…
今日は朝から見かけないけど……
ケノ！とうせまた一人で剣のお稽古だろいつものこったろが！
！
たるんでるだけだ!! 今日はあいつの隊と私の隊とで合同訓練をやる予定だったんだぞ!!
ふふふ
それを何の断りも無しに"

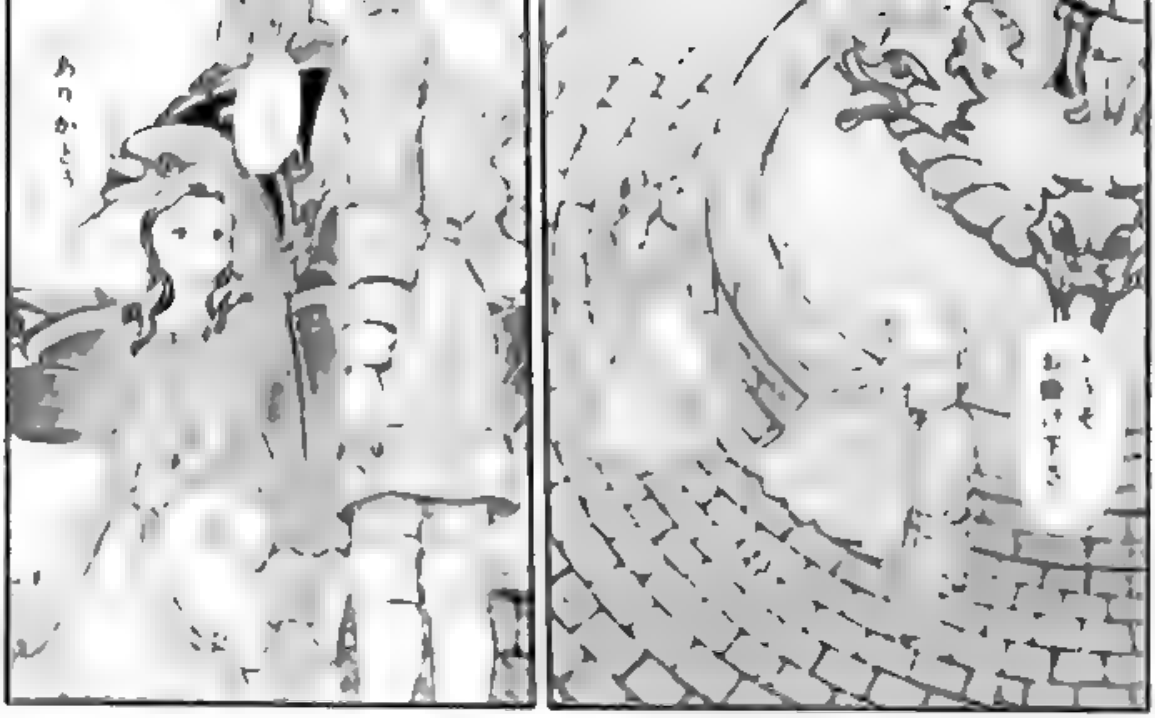

ボク
ボク
カツ…
あ
ん？

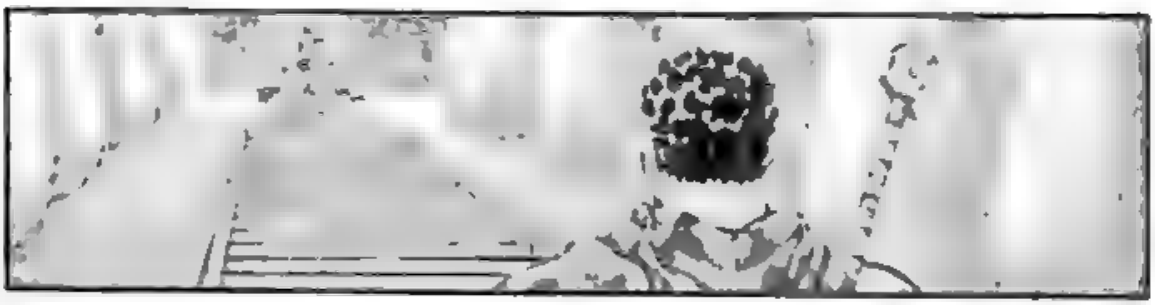
ガソゾ!! 今日一日とこ ほっつき歩いてたな!?
おかげでこっちは大変だったんだぞ!!
それに何だそのかっこは?
堀にでも落ちたのか?
グリフィス…
え…?
グリフィスは…?
…グリフィスは
シャルロット様主催の晩餐会でプロムローズ館だ…
そうか…
おい! 話はまだ…
!



ベルセルク

黄(とうと)きもの





そのカッコで行くつもりか？

グリフィスに恥をかかせるな

用があるなら二人の話が終わるまで待て

借りるぞ

……

ビィー

キュ

……お

おい…

……

よろしいですかゆ主催者か勝手に抜け出したりして

構いませんわ！みなさん私がいなくてもお楽しみです

私

夜会って好きになれませんたった数々しいだけ

それにほんとうは

今夜の夜会は戦、続きて疲れきみのお城いみなさんに少しでも気を紛らわせていただこうというお父様のお取り計らいなんです

……こんな夜会を開くくらいなら

戦そのものをやめてしまわればよろしいのに…

……とうして男は血を流すことはかり好むのか…

ロり場で姫はそっぽしゃいましたね

？

ええ

確かに男にはそんな野蛮な一面があるいかも知れません

でも それは 貴いものを勝ち取り 守るための道具…

諸刃の剣なのでしょうね

貴いもの……？

家族とか…恋人…？

そういう人もいますね

その二つを手にする前に……

…でも男なら

もう一つの貴いものに…恐らく出会っているはずです

もう一つの…

貴いもの…？

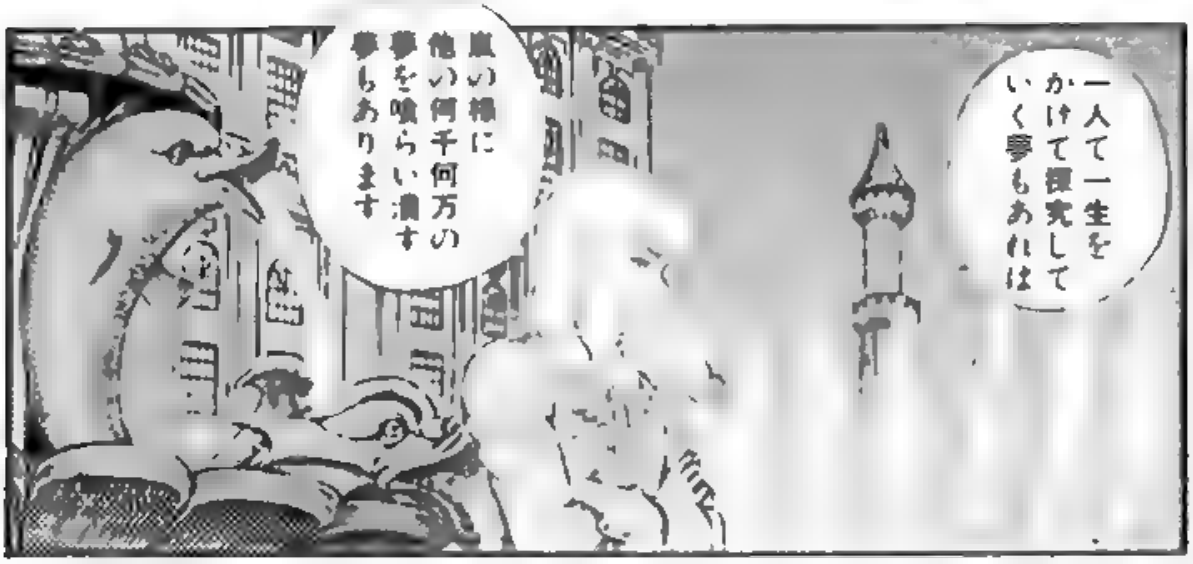
誰のためでもない

自分が……自分自身のために成す

夢です

…夢

世界の姿を夢みる者
ただ一本の剣を鍛え上げることに一生を捧げる者


一人で一生をかけて探究していく夢もあれば
嵐の様に他の何千何万の夢を喰らい潰す夢もあります

身分や階級…生い立ちに係わりなく

それが叶おうと叶うまいと人は夢に恋い焦がれます

夢に支えられ夢に苦しみ夢に生かされ夢に殺される

そして夢に見捨てられたあとでもそれは心の底でくすぶり続ける……たぶん死の間際まで……

そんな一生を男なら一度は思い描くはずです

"夢"という名の神の……

殉教者としての一生を……

……

……

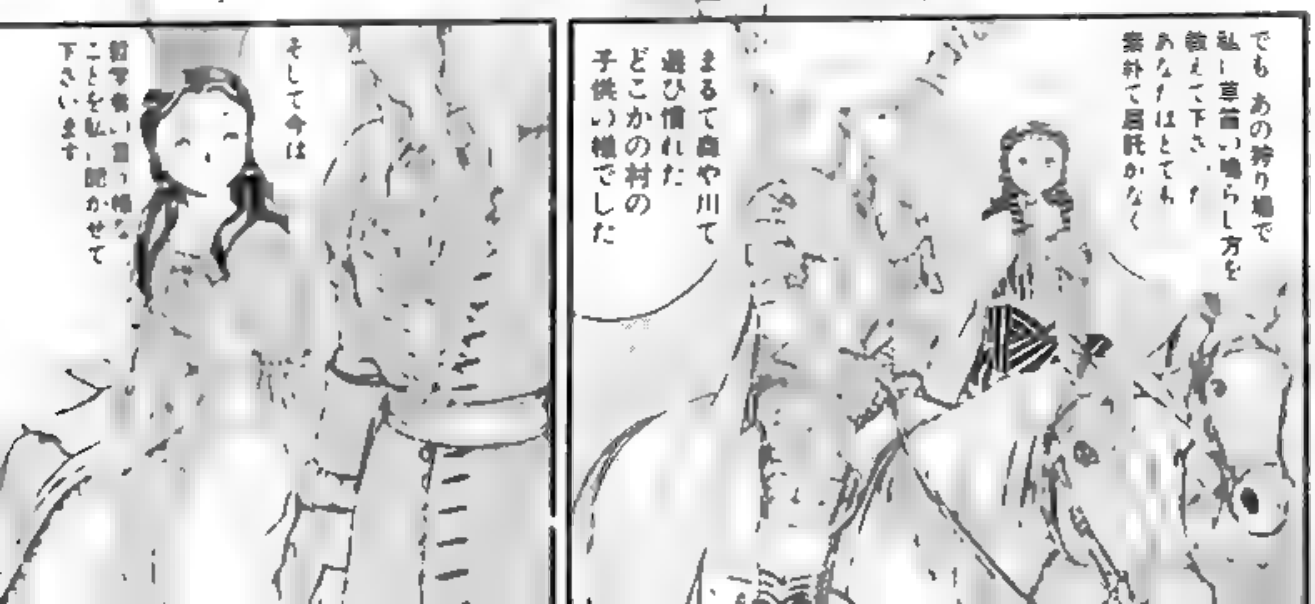
生まれてしまったから

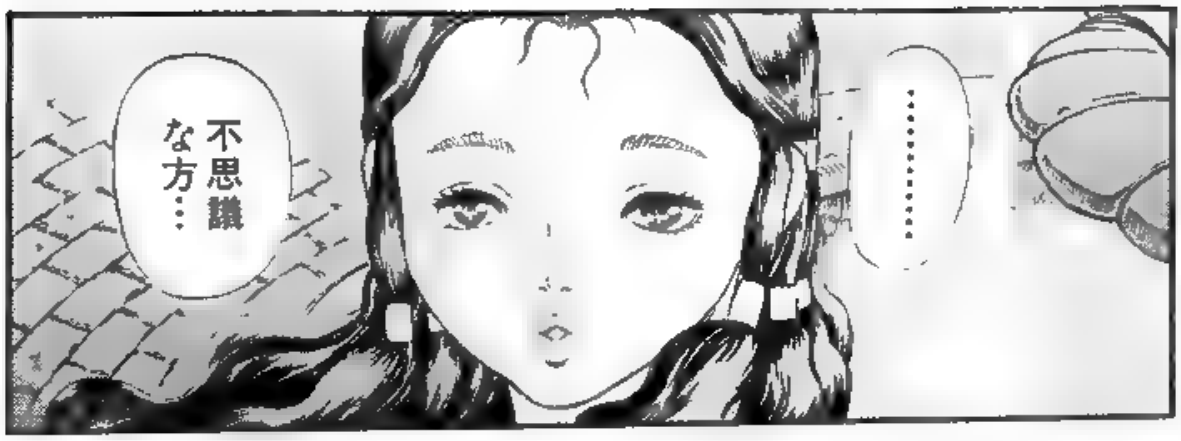
しかたなくただ生きる……

そんな生き方オレには耐えられない

私

男の方と
こんな風に
お話するのは
初めてです




……
不思議な方…

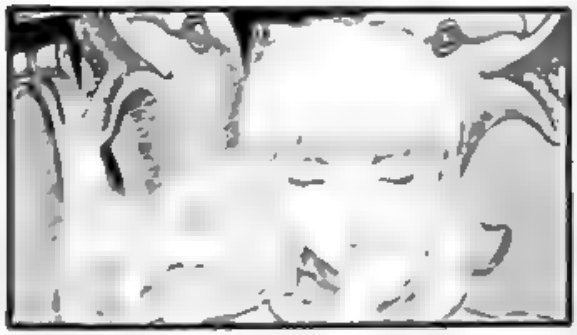
……
あなたのお友達の方々も…
そんな魅力に引かれてあなたについて来られたのでしょうね
ギュ

……
彼らは、
優秀な部下です
何度も一緒に死線を越えて来た……
私の思い描く夢のために その身をゆだねてくれる大切な仲間…
…でも
私にとって友とは……
違います
決して人の夢にすがったりはしない……
誰にも強いられることなく自分の生きる理由は自らが定め進んでいく者……
そして その夢を踏みにじる者があれば全身全霊をかけて立ちむかう…たとえそれがこの私自身であったとしても…

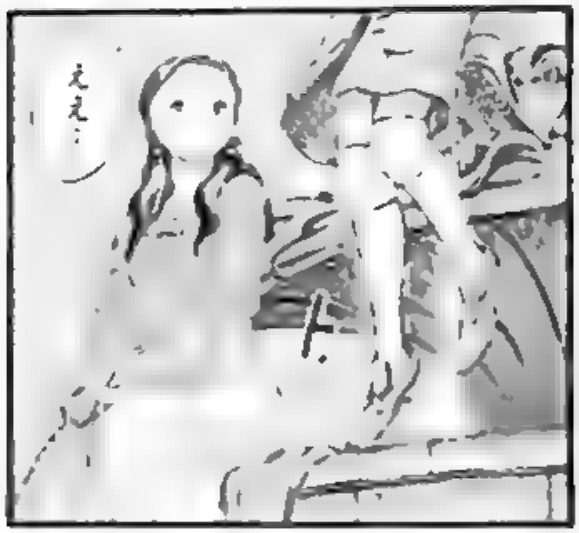
私にとって友とは
そんな…
〝対等の者〟だと思っています

……

……



……すごい
自信ですね


ええ……

そうやって私は

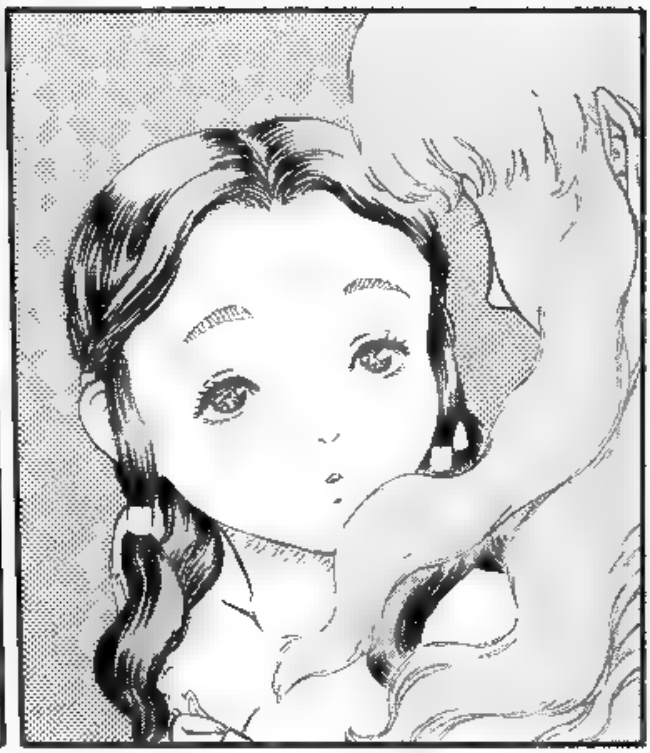
今あるすべてを手にして来たんです

一日に一切れのパンすら口にできないこともありました

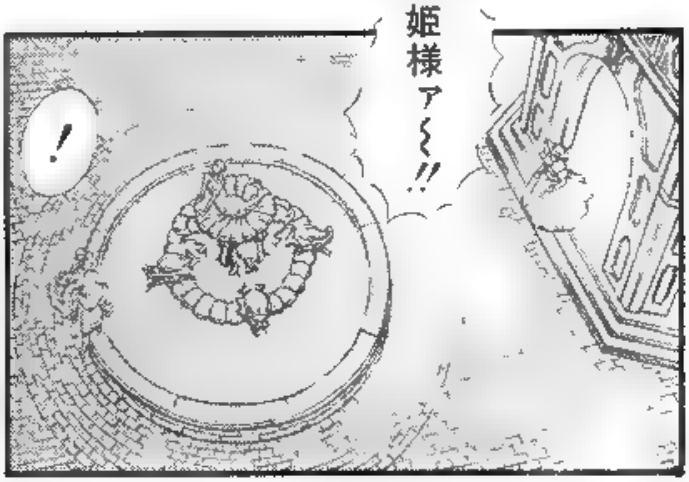
…でも今は…

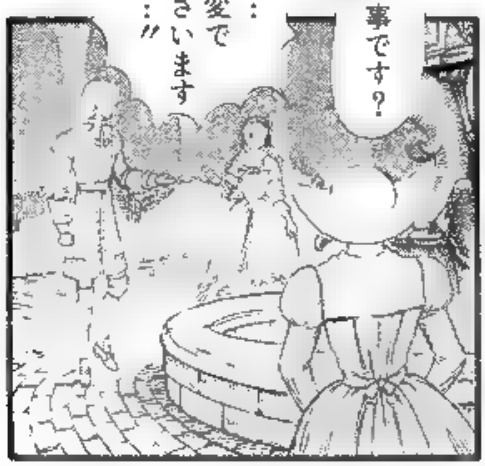
一国の姫君である…あなたに…

こうして口をきいていただくこともできます



……
あなたの夢って…？


姫様ァ～!!
！

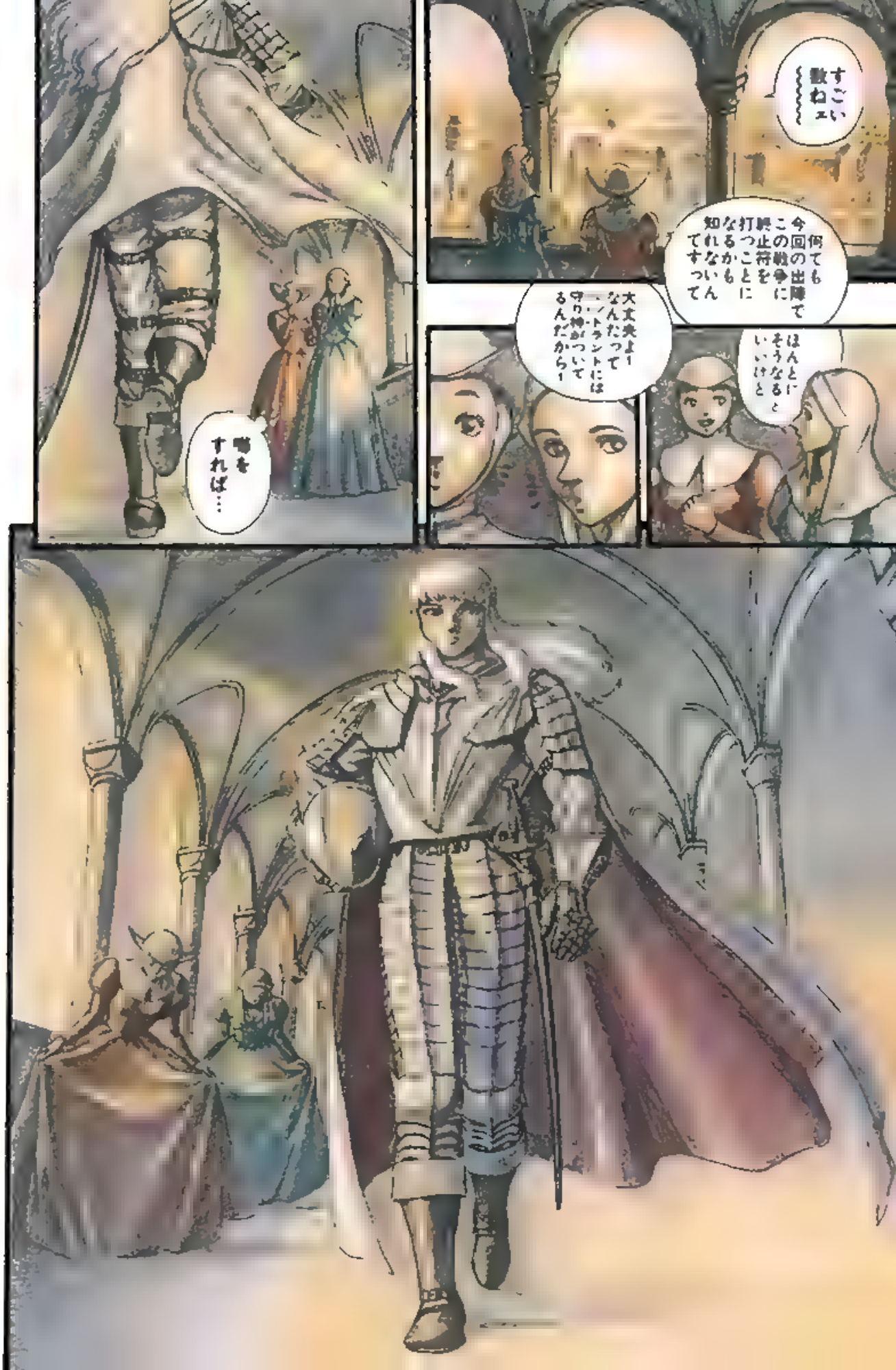

何事です？
た…大変でございます……!!

何ですって……!?
城中大騒ぎです

［貴きもの　おわり］

ミッドランド王家の紋章
それは天の中央に座する
王冠を頂く城
伝説の
"勝利の塔"
である
ベルセルク

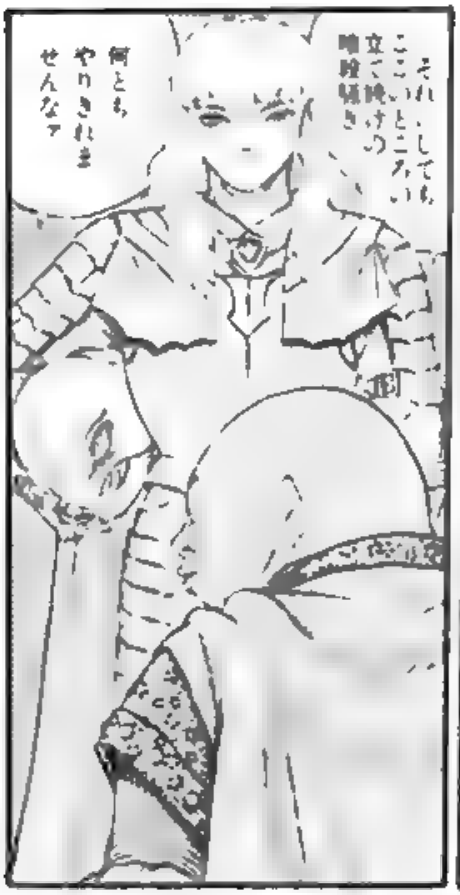
ベルセルク
出陣

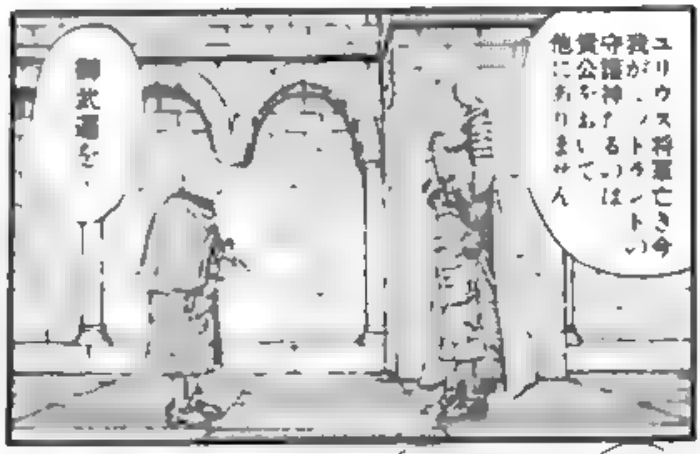

すごい数ねェ
何でも今回の出陣でこの戦争に終止符を打つことになるかも知れないんですってね
ほんとにそうなるといいけど
大丈夫よ！なんたってシャントラントには守り神がついてるんだから！
噂をすれば…

今回の戦…
鷹の団が先陣だそうですな

御出立ですかな

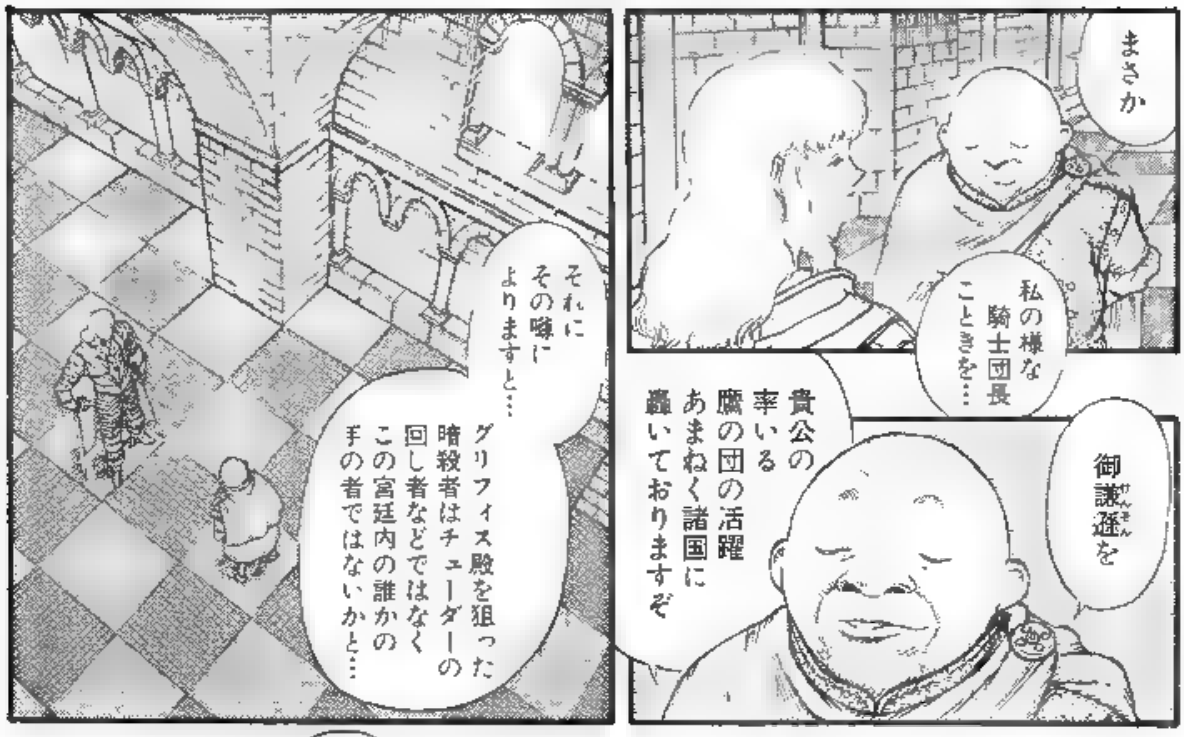
これは
フォス大臣

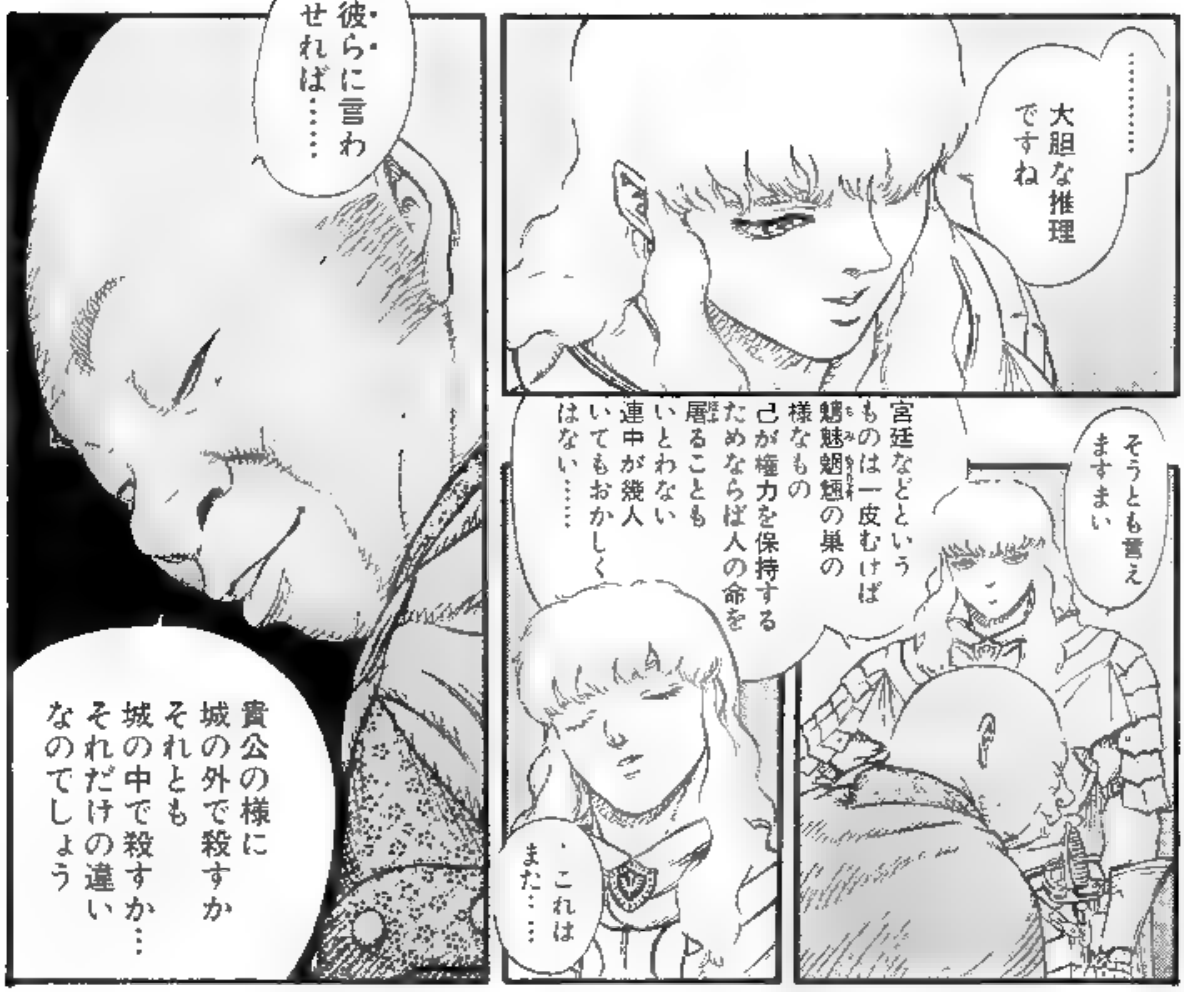

それにしても
ここいとこ多い
立て続けの
暗殺騒ぎ
何とも
やりきれま
せんなァ

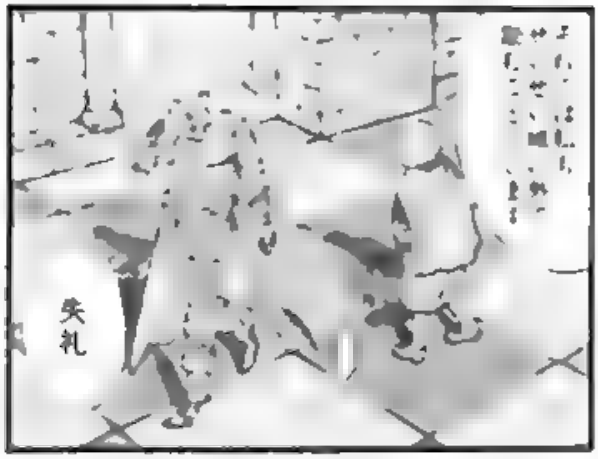

ユリウス将軍亡き今
我が
守護神トラントい
る
公をおいて
他にありません
御武運を…

…守護神
なとと…
大けさ
です
ですか
…
不肖い身ながら
全力をもって
務めさせて
いただきます

乱世には物の怪が人心を惑わすと言いますか。
アトニス様の様なまだ13足らずの子供まで……何ともむごい…
正に鬼神の仕業ですな
いいえ。
鬼神などとてはありません
"人の業"です
大臣
…
ときにグリフィス殿
今回の一連の暗殺事件に関して妙な噂を耳にしましたぞ
妙な噂？
秋の狩りでシャルロット様を狙った矢…
実はあれはシャルロット様ではなく…
グリフィス殿
あなたに向けられて射られたものではないかと……
私を…？

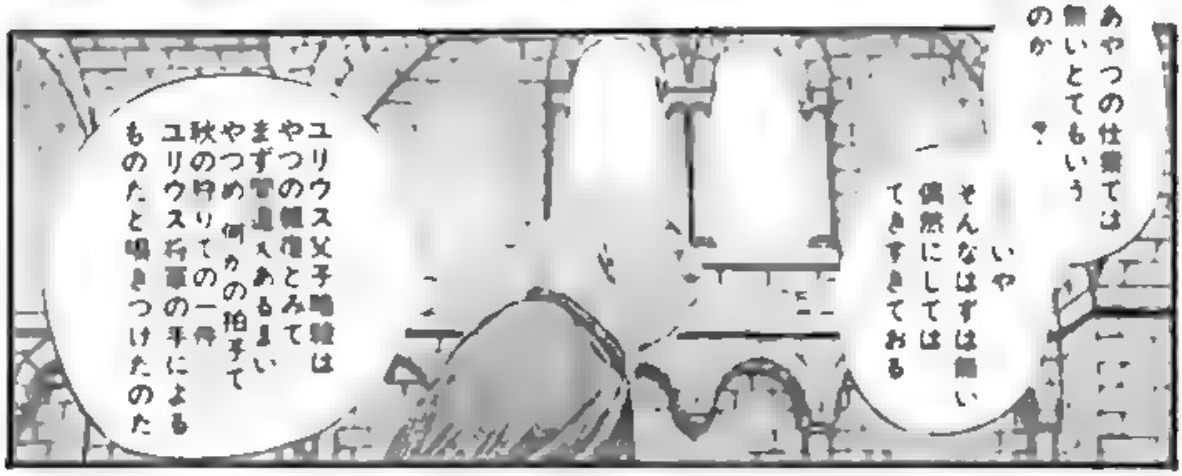

まさか
私の様な騎士団長ごときを…
御謙遜を
貴公の率いる鷹の団の活躍あまねく諸国に轟いておりますぞ
それにその噂によりますと…
グリフィス殿を狙った暗殺者はチューダーの回し者などではなくこの宮廷内の誰かの手の者ではないかと…

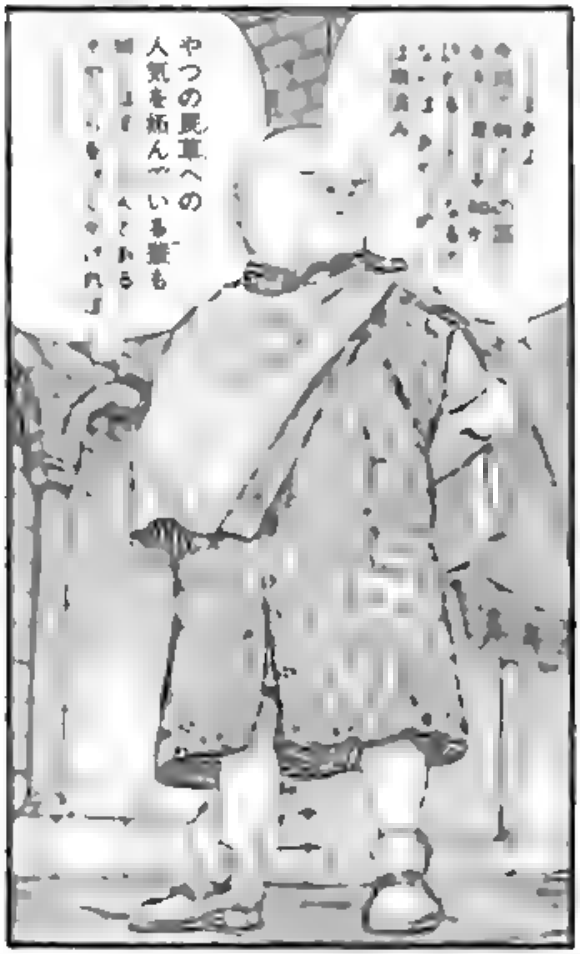

……
大胆な推理ですね
そうとも言えますまい
宮廷などというものは一皮むけば魑魅魍魎の巣の様なもの
己が権力を保持するためならば人の命を屠ることもいとわない連中が幾人いてもおかしくはない……
これはまた……
彼らに言わせれば……
貴公の様に城の外で殺すかそれとも城の中で殺すか…それだけの違いなのでしょう

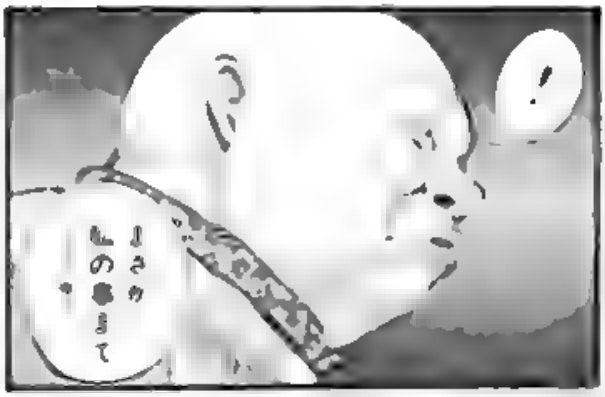

失礼

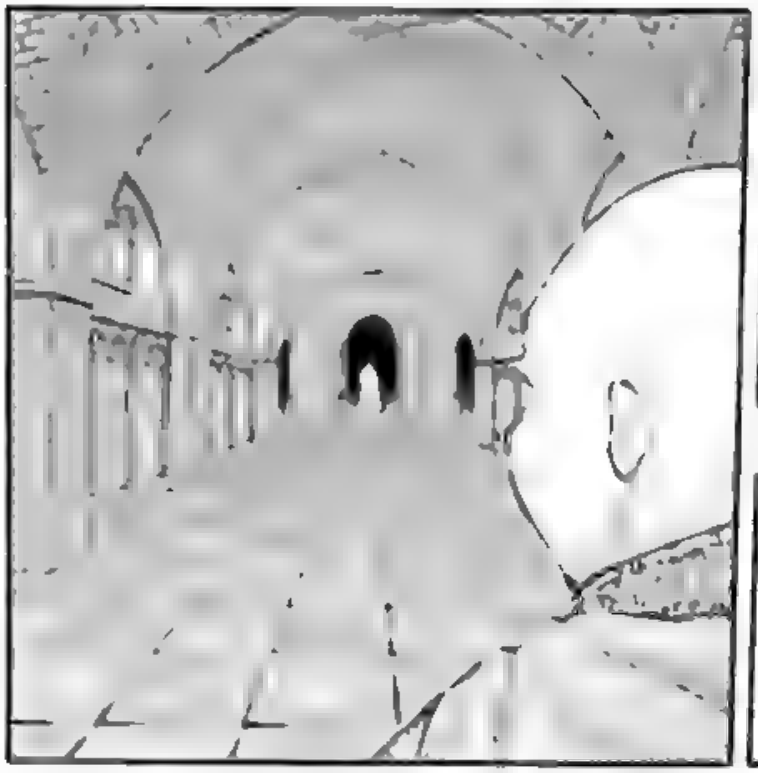
面白い
理屈ですね

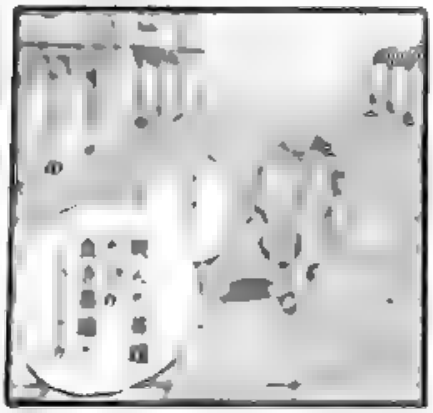
あやつ
アトニス様の事に
触れても
眉一つ動かさ
なんた
フム


あやつの仕業では
無いとでもいう
のか
？
いや
そんなはずは無い
偶然にしては
できすぎておる
ユリウス父子暗殺は
やつの策略とみて
まず間違いあるまい
やつめ 何かの拍子で
秋の狩りでの一件
ユリウス将軍の手による
ものだと嗅ぎつけたのた


やつの民草への人気を妬んでいる者も


まさか私の命まで

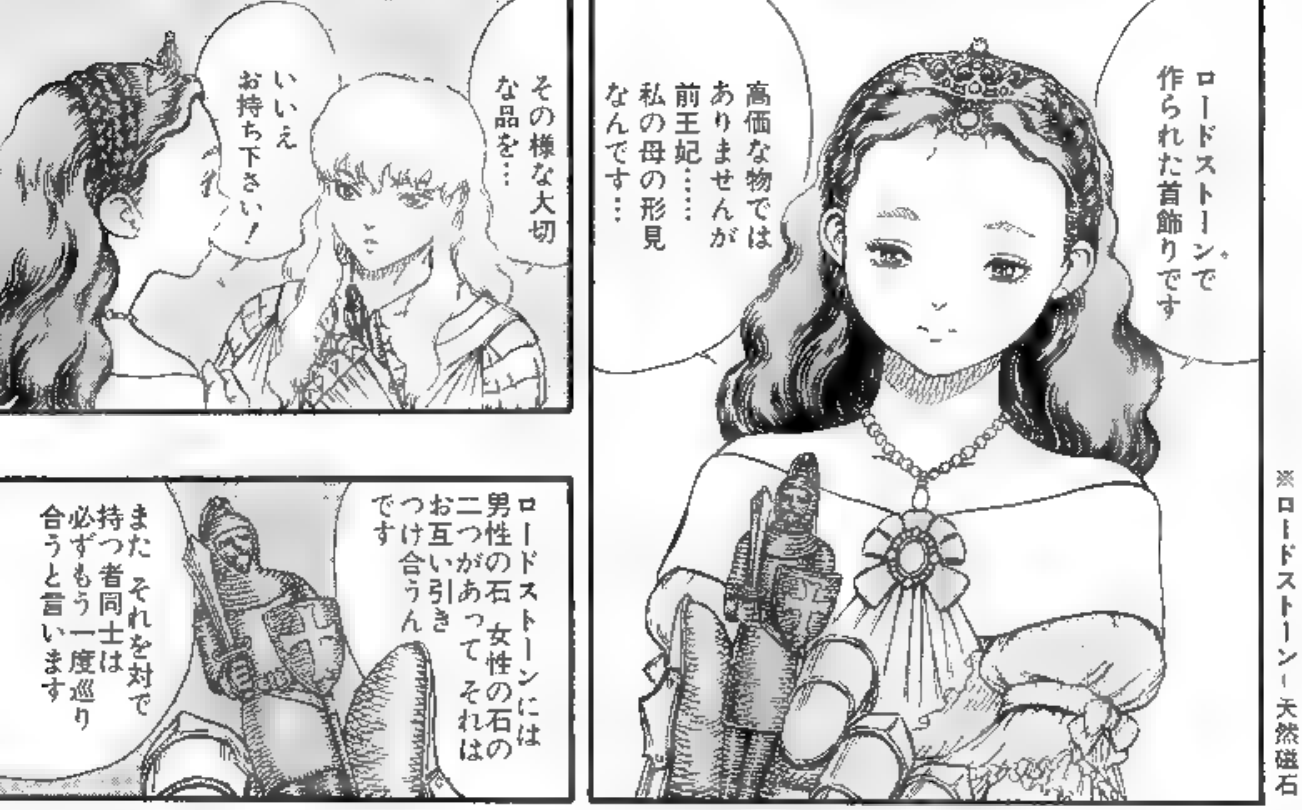




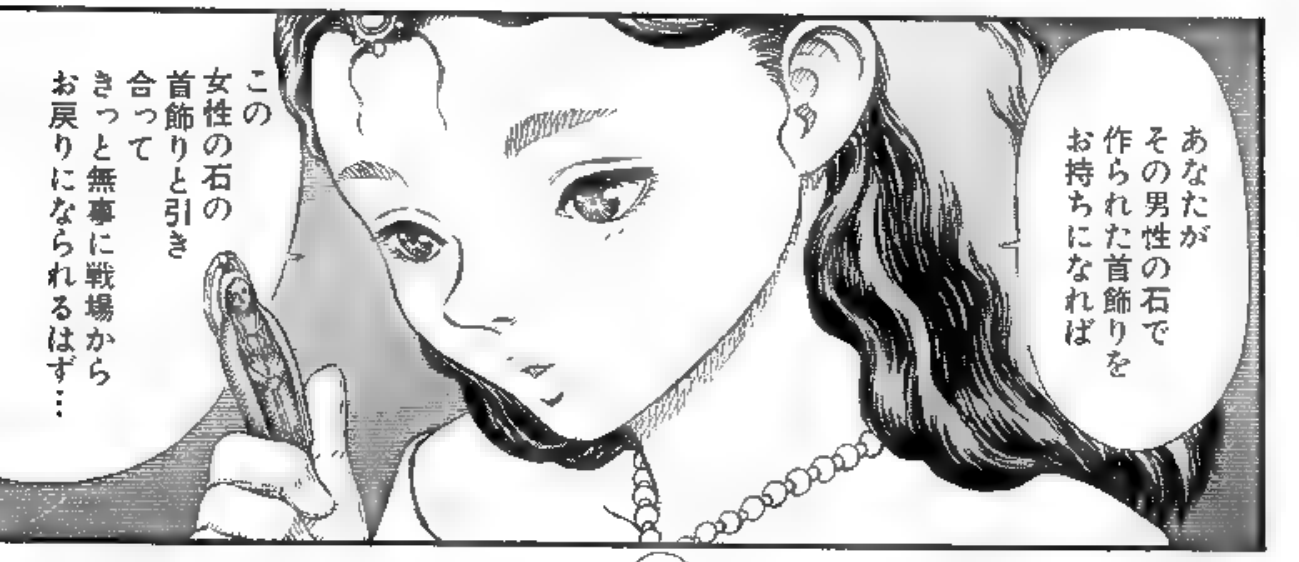
ビクッ

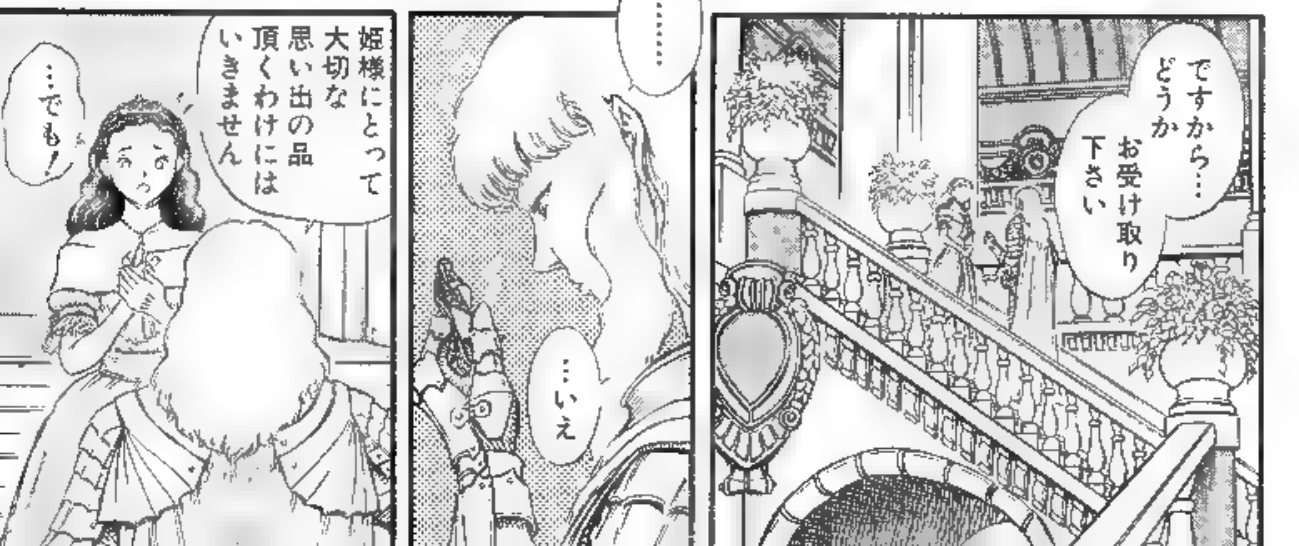
……
ガチャ
ロ
ー
マ
法
王
ークリフィス
帝マル

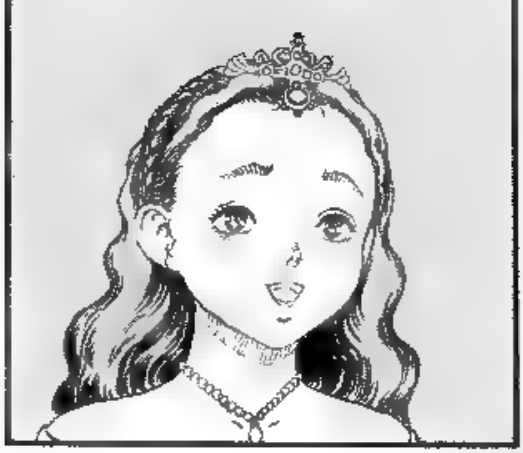
シャルロット様
……
……もう
御立ちになられるのですか？
ええ 行ってまいります
……
……これは？
……あの
これを……
キラ



※ロードストーン＝天然磁石



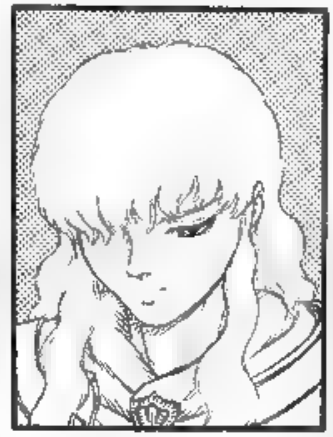




ですから
この戦から
戻りしだい
必ず これを
姫様にお返しに
上がります

……

グリフィス様
……
どうか…



…私
今度の戦ほど…
戦いを恐ろしいと思ったことはありません

……どうか
ご無事で…

そこの騎士の方…

…は

はい!!

カツ!

グリフィス様を…

とうか お守り下さい……

……はい

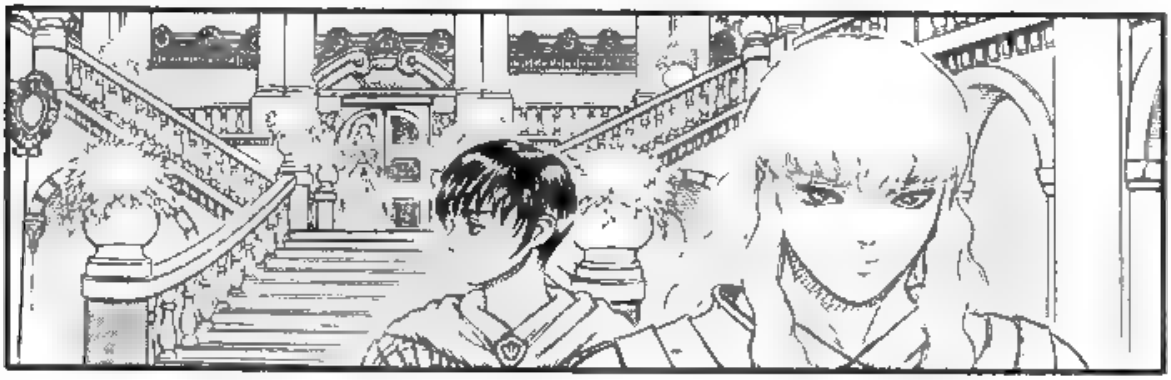
この身に代えましても……

……

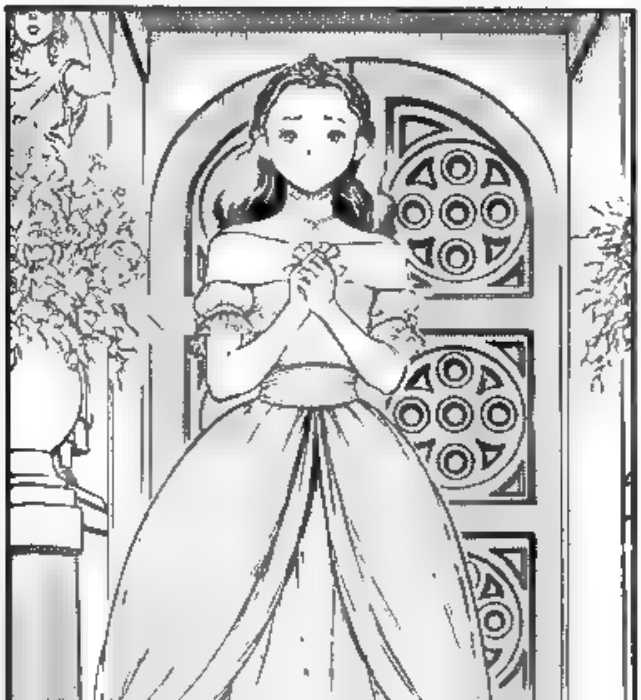
行くぞ

ポン

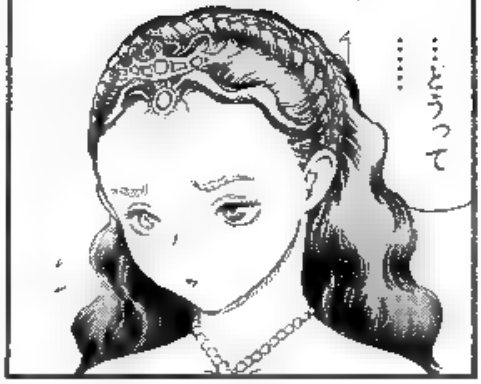
…あ
ああ…



……

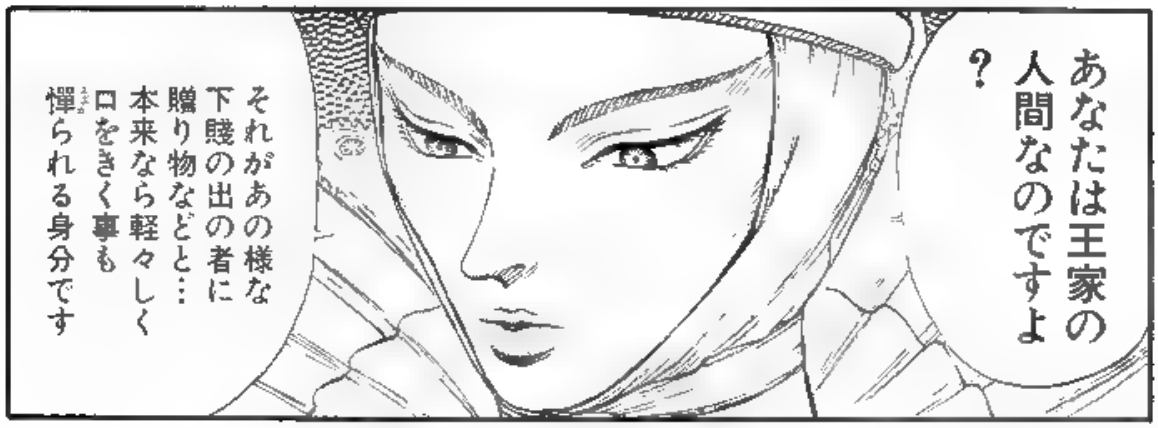


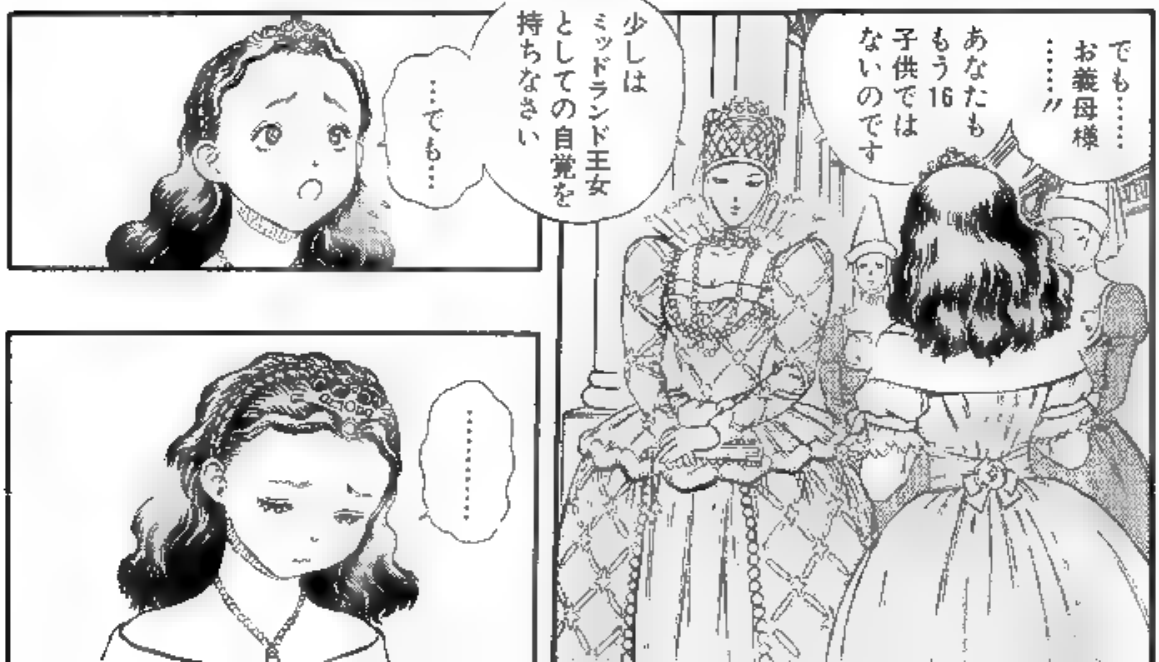
シャルロット
！
お…お義母様…！
どういうつもりなのです？
シャルロット


…とうって
……

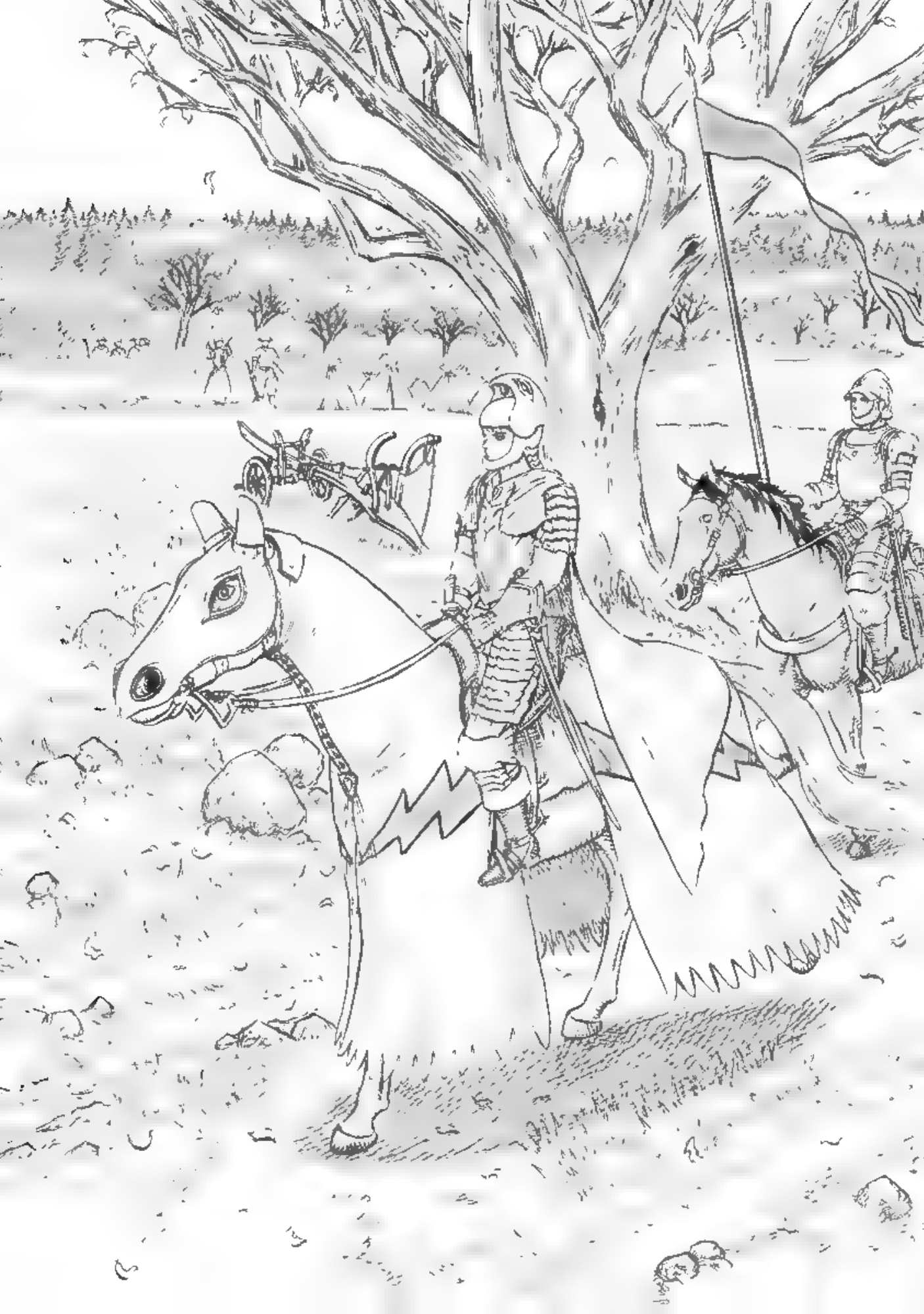
私が私の物を誰に差し上げようと私の勝手でしょ！
なりません！

とぼけるんじゃありません
あの様な者に贈り物など……


あなたは王家の人間なのですよ？
それがあの様な下賤の出の者に贈り物などと…本来なら軽々しく口をきく事も憚られる身分です

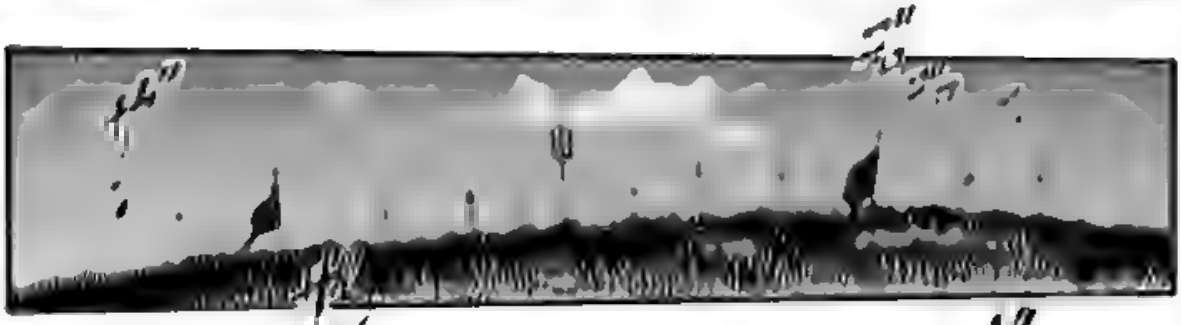

でも……お義母様……〃
あなたもう16子供ではないのです
少しはミッドランド王女としての自覚を持ちなさい
…でも…
……

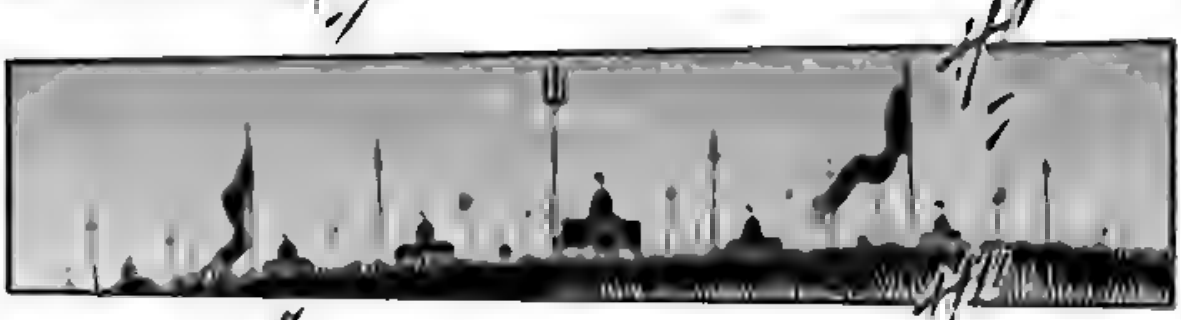
……
出立ーっ!!
ァァァァ.
ァァァァ.ァァ



「出陣　おわり」

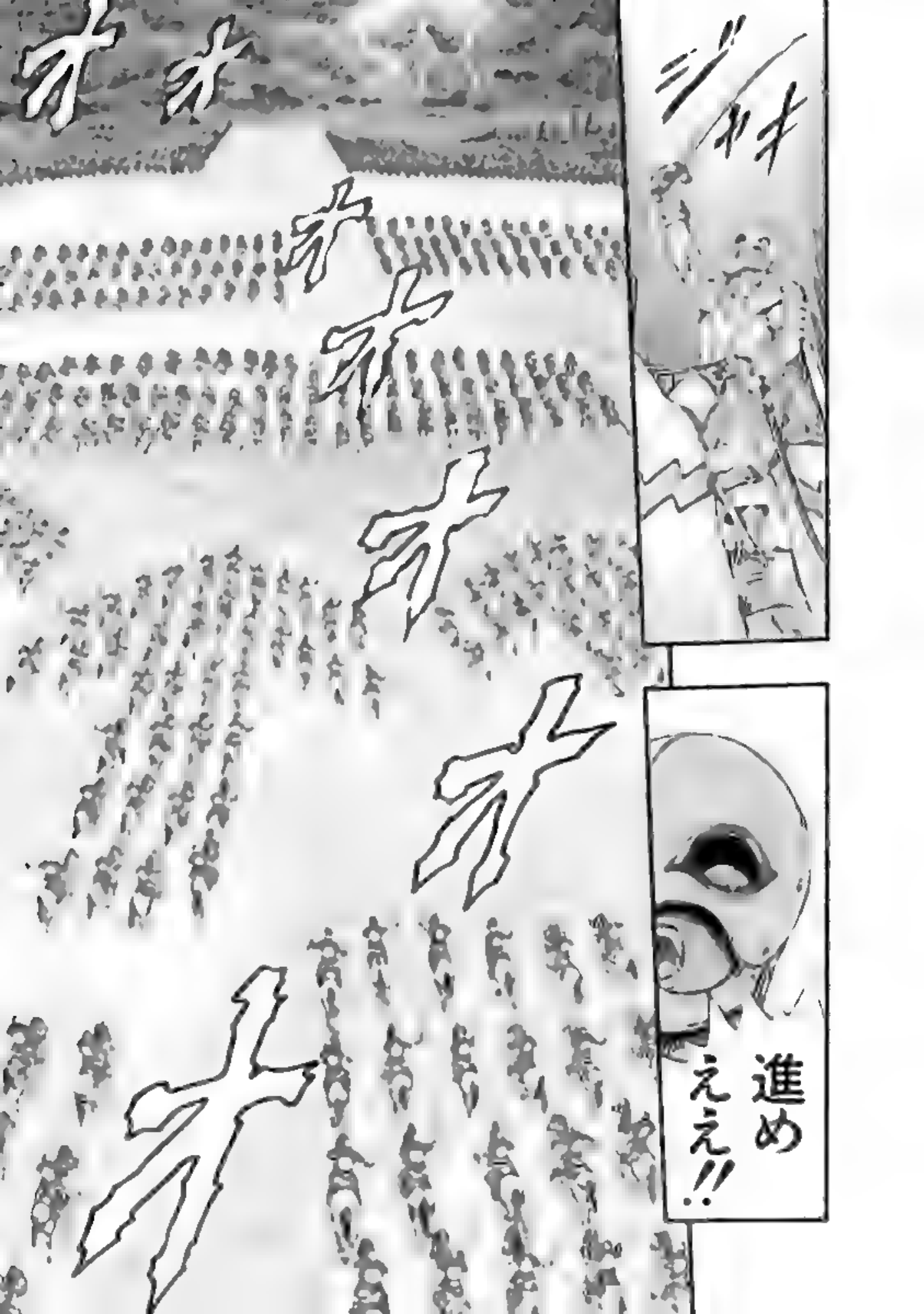
ベルセルク



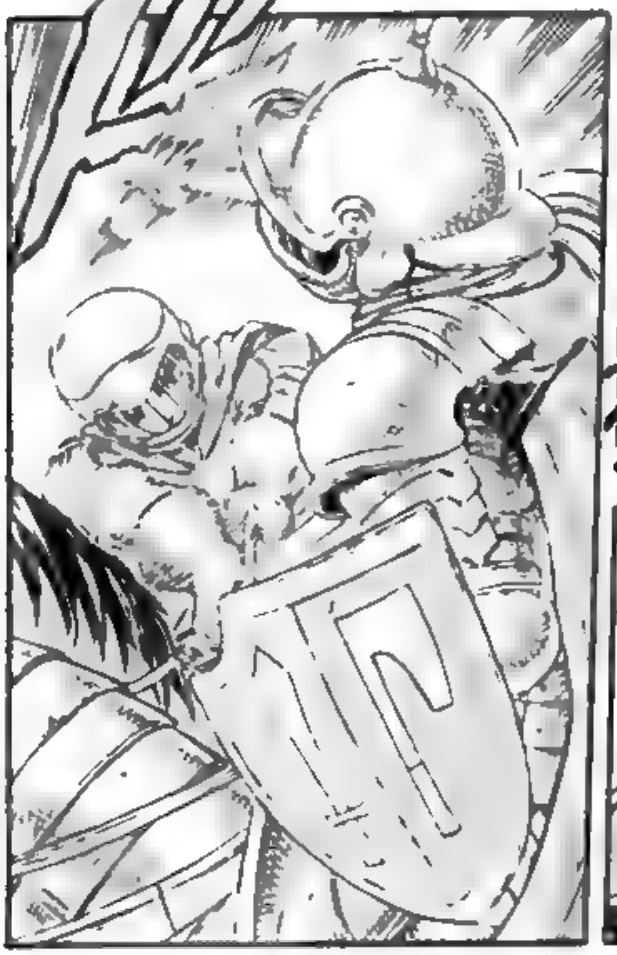


ベルセルク
白 蛾

…こんな時に……
顔色悪いぞ
…さあ
カシャン
始まるぞ
何でもない
な…
?


ミシ ミシ
進めええ!!

こりゃ
乱戦だな
ふー



貴様か…

鷹の団ただ一人の女千人長と言うのは

……

気に喰わんな女たちに騎士のまねごとなどと…

力で男に劣る女が殺し合いで何の役に立つと言いたい

…いや

兵士ともの夜の慰み者としてなら使えんこともないか

なんだと

大方千人長の地位も

あのグリフィスという男の寝室に潜り込んで手に入れたのだろう？

貴様ア!!

……!!
こいつ……
強い!!

戦場とは男の聖域!!

そこへ女の身でありながら踏み込んだ浅はかさ…!!

この青鯨超重装猛進撃戒騎士団団長アトンが知らしめてくれるわ!!

ガガガ

ガガガ

ギィィィン

…だめだ…

力が…

力が入らない…!!

おのれ…!!
キャスカ千人長!!
来るなア!!

…貴様ァ…
ズイ
どうした……後が無いぞ？
ガラ
！

ほれ
ほォ～れェ
……!!
ほう…
男の様な格好はしているが…なかなかどうして上玉ではないか
貴様にチャンスをやろう
もしおとなしく捕虜となるならこの場は殺さずにおいてやる
もっとも捕虜と言っても
軍付きの娼婦としてだがなァ

ゲスが!!
あ…
姉さん…!!
ならば死ね!!!
ギャアアア

らしくねーな

カッ
カッ
カッ
めり込み隠れ
ガッ
うおお
ザザザザ
…き
貴様…"

来いよ
誰でもいい…
剣を思いきり
ブン回したい
気分なんだ…
何も考えられなく
なるまでな
合戦 おわり

ベルセルク
キャスカ(1)

ぬ〜!!

ぬ!!

今の一撃!! よくぞ受けたな小僧!!

だがまくれは二度は続かん!!

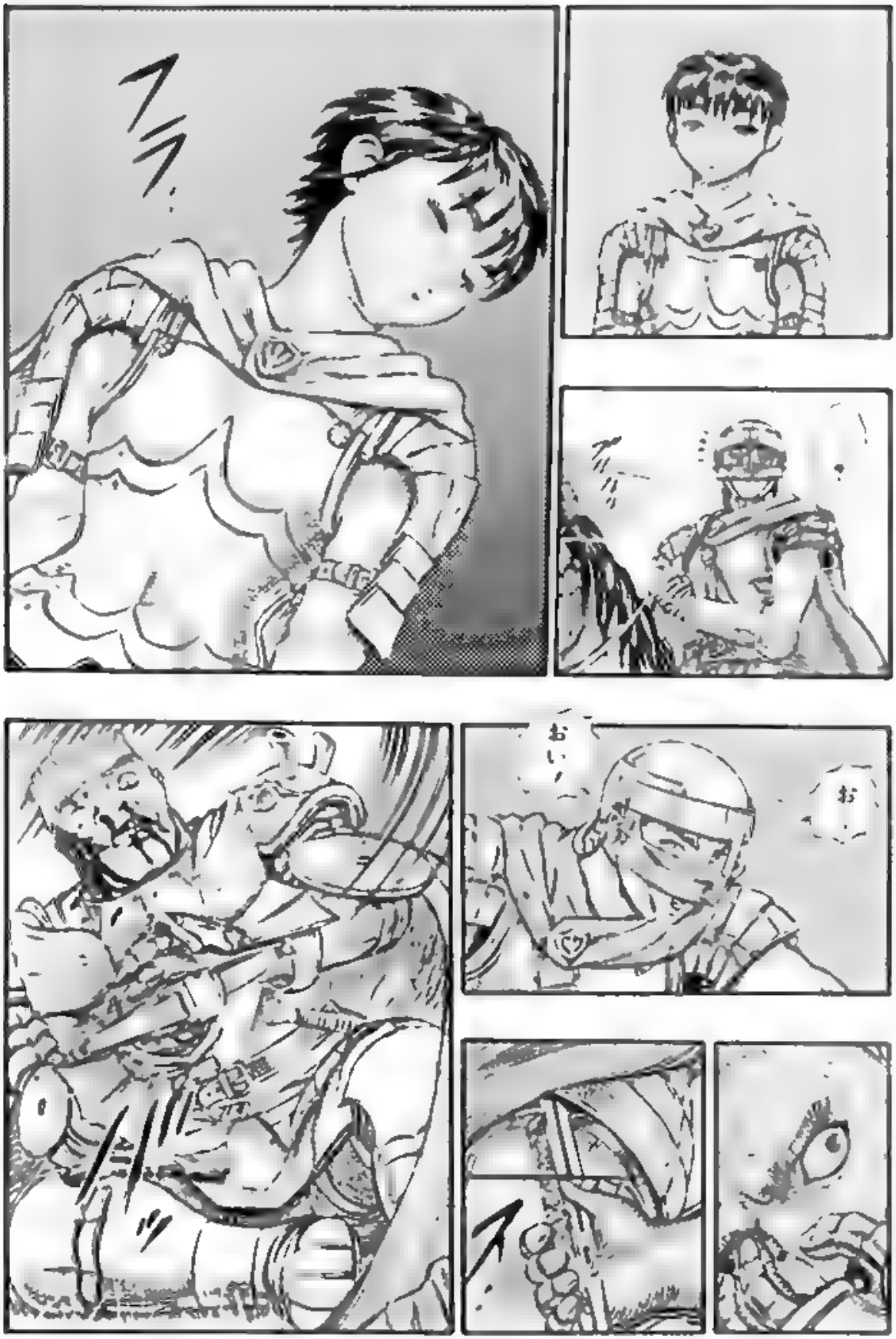
受けきれるか!?

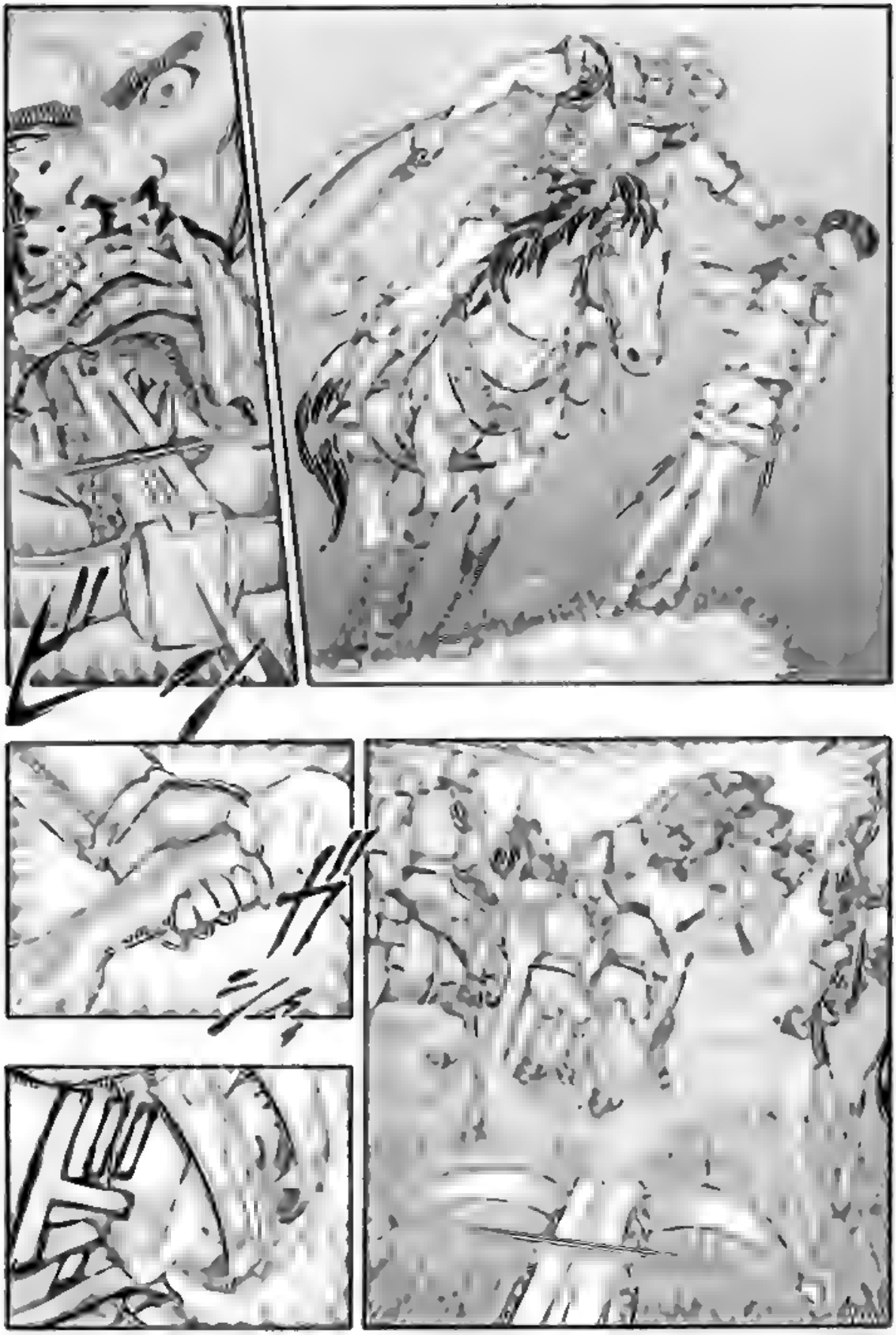
大理石をも粉砕する我がコボルイッツ家に140年に渡り伝承されし戦槍術最大奥義!!

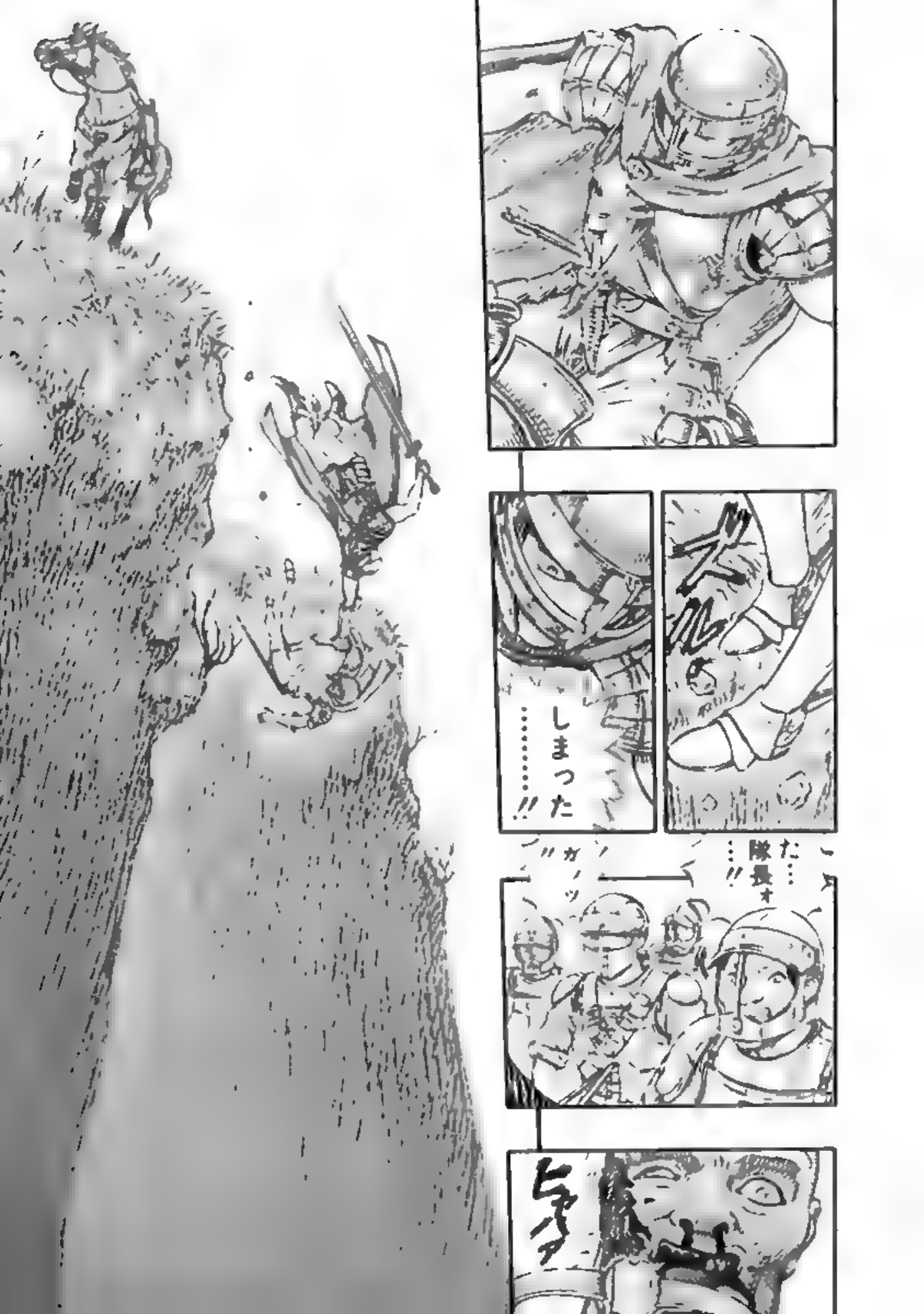
くらえ!!
岩斬旋風……!!

ぼが

ぶぐォ!!
おろォ
あああ
岩斬旋風……
オオオ
す…すげェェ……!!
あのハゲモンをたったた二振りで!!
さすが隊長ォ!!
やってくれるせ!!
何よ?
ガルッ
とうしたの?いつものおまえらしくないせ
剣にまるで切れかねぇ
気抜いてると殺られるぞ


おい
お




ヒャハァ
ガッ
た…隊長ォ…!!
しまった……!!

キャスカ!!
ドガッ
……!!
カッ
……!!
キャスカ
……!!
……ち!

……もう二度とごめんだぜ……
甲冑つけたまま泳ぐのはよ…
！
やへっ……
ザ
ゴボ
ザアア・ア・アア…
カチャ
ガ
スウィー
ゲ

ゴホ
ギュ
ギュ
……!!

今度会ったらサシミにしちゃる
ザアアアアアア
!

ガッツとキャスカが!?

かなり高い崖なんですか…

下は川だったんでしょうきっと…

ガッツの事だ……

まず死ぬ様な事は無いと思うけど…

あの高さで無事で済むかどうか……

……

グリフィス隊おわかりでしょうな?

手キズも負ってたし…

キャスカの様子も変だった

捜索隊を出すなら急いだ方がいい

戦ではまず敵に打ち勝つことこそが大事！

その最中高々一隊長ごときの生死を確かめるために王より授かる大切な兵を割くなど言語道断！

……それに噂に高い鷹の団の切り込み隊長と女千人長が揃っているのでしょう？

……

しかも自ら挑んだ一騎討ちのあげくとあらば尚のこと！

ち…違いやすあれは…！

その程度の窮地難無く切り抜けるのでは？

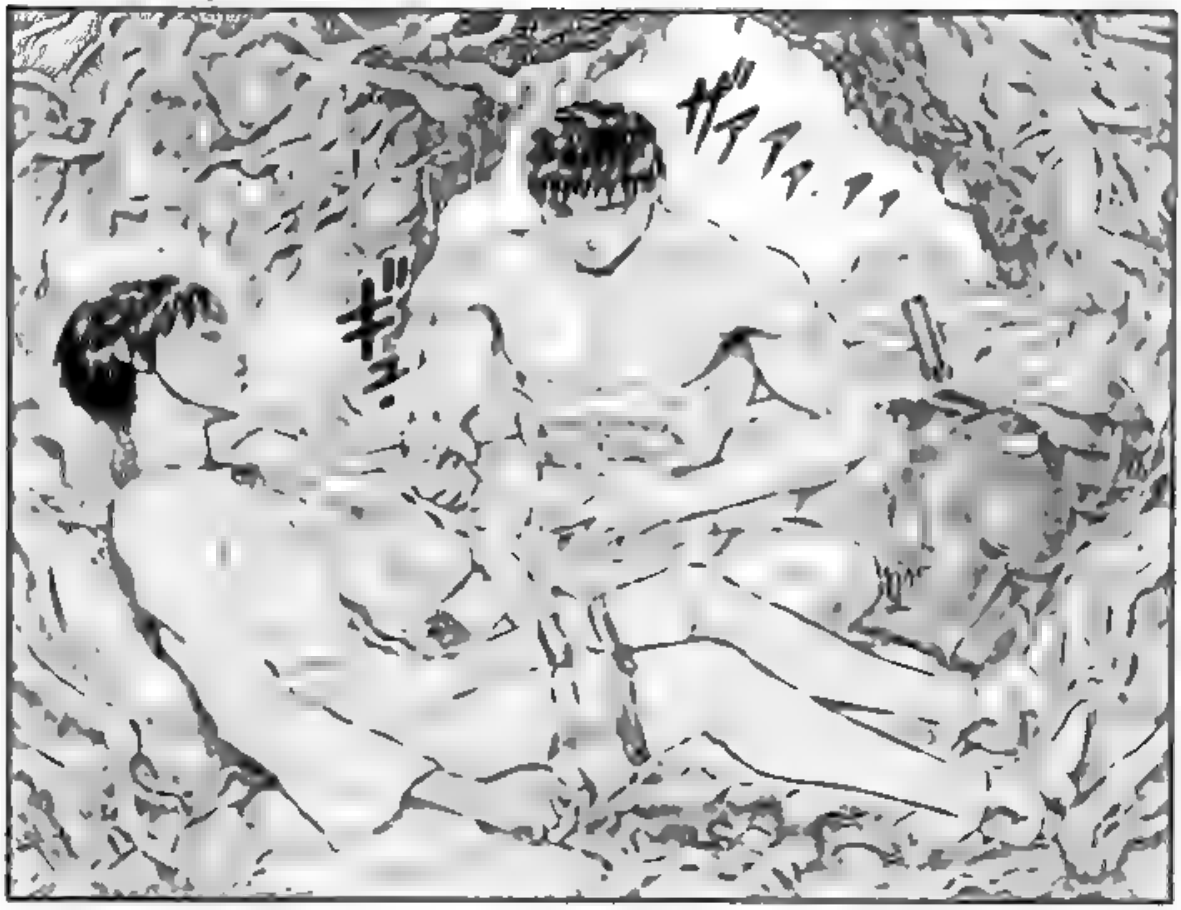
まっ…

……

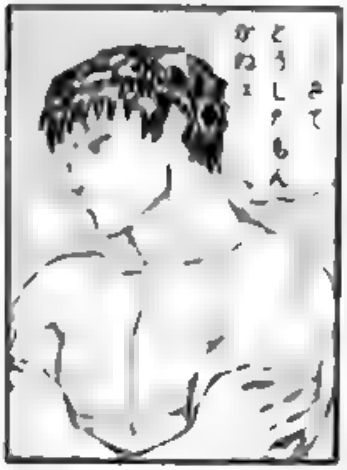
ガラガラ

生きていれば

……!!


ガァァァァ
キュ

ガチ

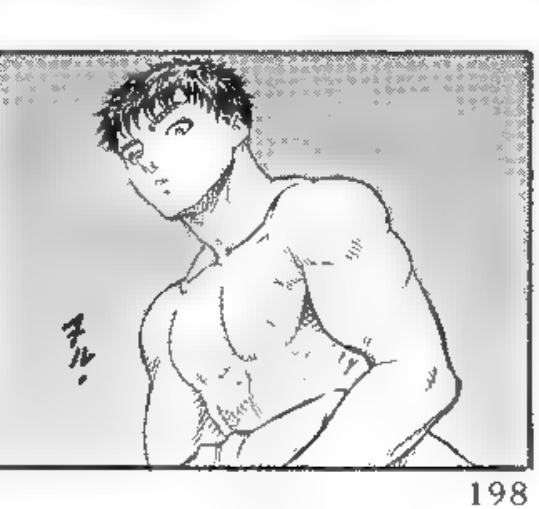

さて
どうしたもんかねェ

……

落ちるところを誰さんにも見つれても火イ焚きゃ居場所を教える様なもんだ
キャースカが
これしゃばらくは
ここを動けねェし

だ〜〜〜〜!!
しゃあねえ
なあああ!!

あれっきゃ
ねえか!?
やっぱ…!!

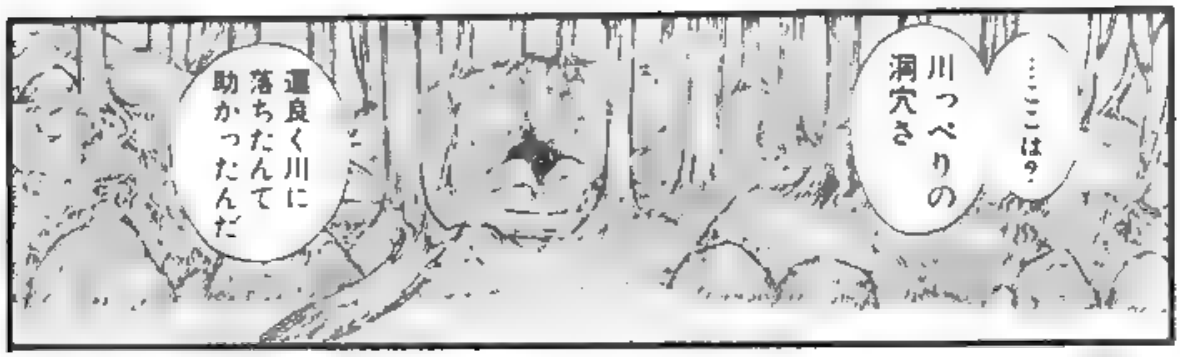


血…!?
このバカ どっか ケガを…!?
そういうことか
どの

ベルセルク
ついて来るも来ないも君の自由だ
もう戻い方は知っているだろう？
でも…
キャスカ(2)

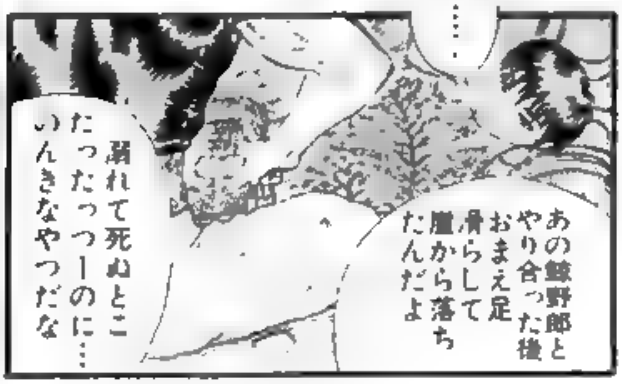
でも
ようこ

……


……ここは？
川っぺりの洞穴さ
運良く川に落ちたんて助かったんだ

……川？

何だおまえ……
何も覚えてねえのかよ？


……
あの鯨野郎とやり合った後おまえ足滑らして崖から落ちたんだよ
溺れて死ぬとこたったつーのに……いんきなやつだな

バカ！
まだ横になってろ熱が下がりきってねえんだから

ガラガラガラ
おいッ
ドサッ!

やい!! いい加減にしねえか!!
この…ヒ・ス・女・!!!
ピ!
恩を売るつもりはねえけどな!!
こっちは死ぬ思いして甲冑つけたてめえを川からひきずり上げたんだ!!
それが礼の一言どころかナイフ投げつけるたあよ!?
てめえが女じゃなかったらブンなぐってアゴはずしてるとこだぜ!!
気に喰わんな女だてらに騎士のまねごと・・・などと・・・・・力で男に劣る女が殺し合いで何の役に立つと言うんだ
大方千人長の地位もあのグリフィスという男と寝室にでも入込んだろうの!?

私だって…
好きで女に生まれたわけじゃない…

……
おい……悪かった……
どうわっ
この野郎!! やっぱとんでもねえ女だ!!
ちったあおとなしくしやがれ!!
姦っちまうぞてめえ!!
放せ……!!
……はな……
クラ……

ズル!
!
おい…
ハア、ハア、
言わんこっちゃねえ…
オラ! これ着てろ
オレが着てたからもう乾いてる

なんだ？
まだ泣いてんのか？
うるさい!! むこう向いてろ!!
…情けない
おまえにだけは…
助けられたくなかった……
ずいぶんと嫌われたもんだぜ
（助けんじゃなかった）
…なあ
そう言や おまえ 何で鷹の団に入ったんだ？ さっきも言った通り 女にゃ辛えんしゃねーの？ 戦商売って……

フリーマス…
フリーマス…
私の故郷は
山間の貧しい農村だった
土地は痩せて、カラス麦以外ろくな作物は育たない
それでも戦の軍資金だ何だと言って税は絞り取るだけ絞り取られる
3日も何も口にできないなんて事はざらだったし
冬には餓死者も出た

村か国境いにあったせいでよく小ぜりあいに巻き込まれた

私達はそい度に山に隠れて家や畑が踏み荒らされるのを黙って見ているしかなかった

とこの村も似た様なものさ…

みんな寄われ踏みにしられる事に慣れていった

私もそんな生活が当たり前の様に思っていた

……

…ある日

遠乗りの途中村を通りかかった貴族が私に目をつけたんだ

そい貴族は私を城の侍女に欲しいと両親に申し出た

父はそりゃもちろんそい申し出をうけた

実際仕方なかったんだ私い家族は6人兄弟今まで餓死者を出さずにやってこれたのが不思議なくらいで

大した働き手にもならない末娘を口減らしに出すのは父としても当然の選択だったと思う

…しかし
城へ向かう途中
見も知らない貧乏人の娘一人をわざわざ救ってやろうなんて酔狂な貴族がいるはずもない
そいつは最初からそれが目的だったんだ
考えてみれば当たり前さ…

仕方がない
当たり前…

その2つが
いつも私の心を
現実につなぎ止める
ための楔だった

貴族に生まれ
つしかとしう
たけて
神にでも
選ばれた
つもりか？

……不思議な……
まるで村の教会に飾ってあった
何とかいう聖人の絵が
そのまま動き出した様な
……

神々しく…
現実味の薄い
光景だった

みじめで無力な
一人の娘を
真れんて
神様か天使を
遣わされた…

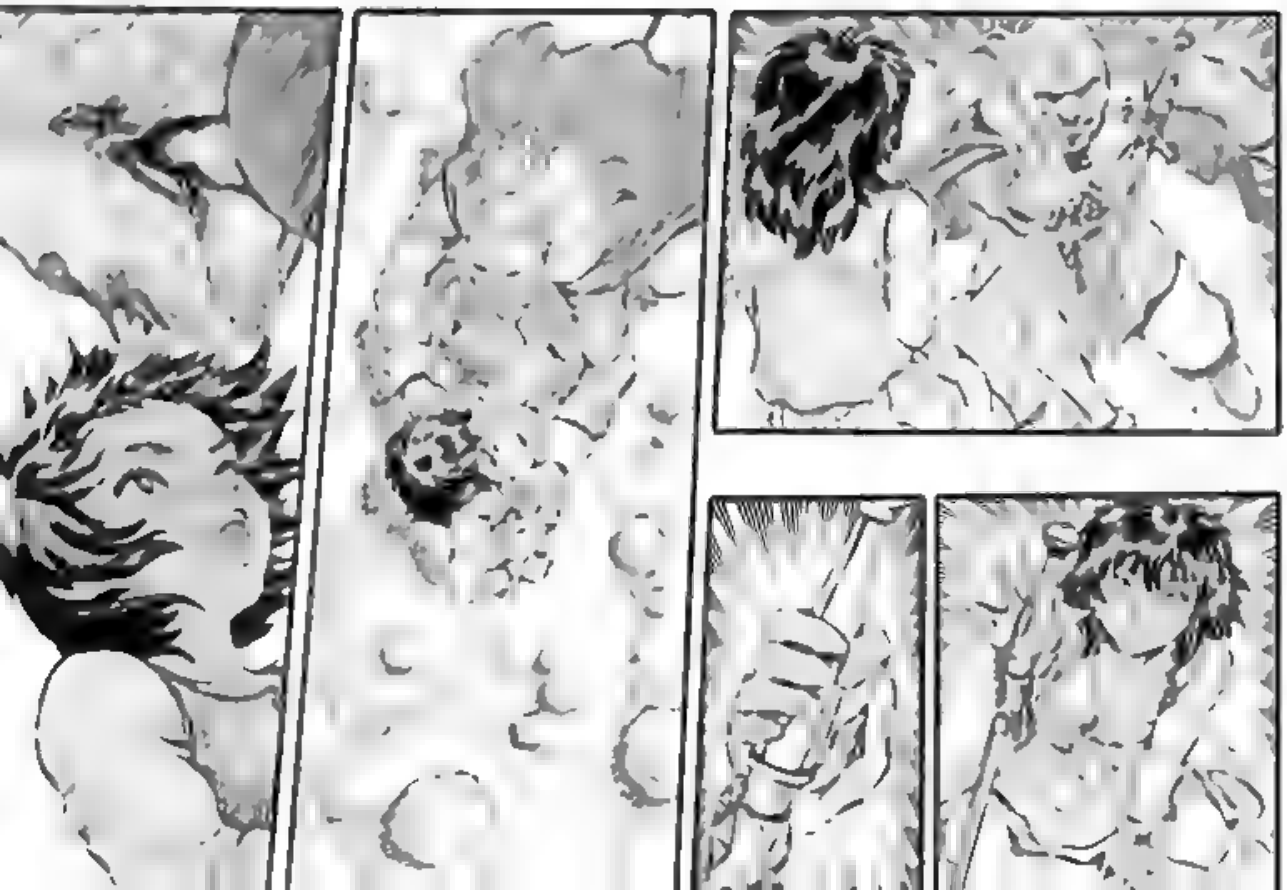
12歳の私には
一瞬 そんな風に
思えた

しかし その天使が
差し伸べたものは
そんなおとき話の
様な…

都合のいい
救いの手ては
なかった

!

君に守るものがあるなら
その剣をとれ



ゆ
声も出ず その場を
動くこともできず

その人は大きく…

ゆっくりとうなずいただけ……

でもそれが

彼の差し伸べてくれた本当の救いの手だったんだ

恐怖は消えはしなかったが罪悪感と後悔の念は薄れ……

誇らしさと……彼のくれた毛布のぬくもりが心を満たしていった

グリフィス向こうは片づいたぜ
！
この人盗賊なの……？
……あ
待って
……私
とうすれば……？
好きにすればいい
……
……私も

私も一緒に連れて行って!!

衝動的に…

その一言が私の口をついて出た

おいおい冗談じゃねえぞ

姉ちゃん

オレたちゃただの盗人しゃねえ!こうやって軍資金を集めてそのうち兵を起こそうってんだ!

カキや女連れで戦ができっかよ!

もう村には帰れない…

私一人が無事だと知れたらあなたは役人に引き渡されるのが手ばなしの疑うに決まってる役人なんて貴族と同じ…

それに…家族にも迷惑がかかります…

尋問を口実に何をされるかわからない…

お願い…

剣の扱いを覚えろと言うのなら覚えるわ だから…

ありゃりゃ マジだぜ こいつ

……

死ぬかも知れないよ？

言ったろ？ 好きにすればいい

ついて来るも来ないも君の自由だ

コク

もう戦い方は知っているだろう？

……

でも…

……でも

剣も毛布も……

あなたがくれたんです

［キャスカ(2)－おわり］

●初出一覧

剣の主①……●ヤングアニマル(1993年2号)
暗殺者①……●ヤングアニマル(1993年3号)
暗殺者②……●ヤングアニマル(1993年4号)
暗殺者③……●ヤングアニマル(1993年6号)
暗殺者④……●ヤングアニマル(1993年7号)
貴きもの……●ヤングアニマル(1993年8号)
出陣……●ヤングアニマル(1993年9号)
合戦……●ヤングアニマル(1993年10号)
ギャスカ①……●ヤングアニマル(1993年11号)
ギャスカ②……●ヤングアニマル(1993年12号)

YOUNG ANIMAL COMICS

ベルセルク6

デジタル版

著者　三浦建太郎
(C)2016 Kentarou Miura
発行者　菅原弘文
発行所　株式会社 白泉社
発行日　2016年6月1日

●本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、上演、放送などをすることは、著作権法上での例外を除いて禁じられています。
●この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などとは、いっさい無関係です。